

事業名：農業振興資金貸付事業

【事業番号 35】  
農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	昭和45年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に住所を有し、且つ、農業振興地域の整備に関する法律（農振法）に基づく農用地区域内に経営地を有する農業者

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1 総農家数	世帯	398	335	335	335
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、手法）

融資機関（農協）が農業者に貸付ける振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。  
 ◎ 1～5号資金  
 市が農協に融資額の1/2を預託  
 ◎ 6号資金  
 市が農協に融資額の2/3を預託

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1 新規貸付件数	件	0	0	0	5
活動指標 2 新規貸付金額	千円	0	0	0	5,000

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設・機械等の導入実現のため、国・道の制度資金を補完する融資事業であり、低利率で利用しやすい貸付資金の提供により、施設・機械等を導入しやすくし、農業者の農産物の生産性の維持・向上、農業所得の向上、農業生産の基盤強化を図る。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1 施設・機械等の導入数	件	0	0	0	5
成果指標 2					

事業費の推移	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)	千円	1,080	533	267	5,000
正職員人件費 (B)	千円	1,922	1,907	1,141	1,942
総事業費 (A+B)	千円	3,002	2,440	1,408	6,942

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度 融資機関（農協）が農業者に貸付ける農業振興資金の原資の一部として、市が融資期間に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金（継続枠 1 件、新規枠0件）267千円

**事業開始背景**

昭和45年度、農業者の自立安定経営のため、国、道等の制度資金を補完する融資事業として、農産物の生産性や所得の向上を図るために開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

国、道等の制度資金は見直しが行われ、融資内容は充実してきたものの、貸付条件・手続等の理由により、大口での利用以外は利用しにくいのが現状である。一方、農業を取り巻く環境は、海外農産物の輸入増加などで年々厳しくなっており、農業経営の改善を進める上で振興資金の提供は今後も必要となってくる。継続枠の貸付けについて、令和3年度で償還が完了した。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	国の補助事業や農協での融資の幅が拡充され、金利も低く推移しており、振興資金を利用しなくとも低利率の民間融資が提供されている。また、積極的な融資を促すものではなく、補助事業や民間の融資で融通できなかった農業者が、この資金を利用して必要最小限の投資を行うセーフティーネットであり、該当案件は減少している。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	農業経営には多くの経費が必要となり、新たに積極的な投資を行うことは難しく、助成条件を見直したとしても、現状と同様に農業活動に見合った必要最小限の投資となることに変わりはないと考えられる。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	現状のところ、金融機関へ原資を預託する形態をとっていることから、直接的な支出が生じておらず、コスト面では負担の少ない手法だと考えられる。
	なし		

事業名：合併処理浄化槽設置貸付事業

【事業番号 38】  
農業振興課 農政係

政策	02 産業		戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進		具体的施策				
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の下水道が整備されていない地域の農業者

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	総農家数	世帯	398	335	335	335
対象指標 2	下水道認可区域外の世帯	世帯	1,554	1,523	1,469	1,500

手段（事務事業の内容、手法）

農業振興資金特認資金分（合併処理浄化槽設置費用）としての原資の一部として融資機関に無利子で預託を行うことにより農業者への貸付利率の低減を図る。  
※生活環境部環境室では、合併処理浄化槽の助成金制度があり、設置に係る費用の一部（基準助成額）の概ね4割を国費、道費、市費で助成しており、設置費用残額（上限あり）を農業振興課で貸付するものである。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	新規貸付件数	基	0	0	0	2
活動指標 2	新規貸付金額	千円	0	0	0	1,450

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

合併処理浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と雑排水を併せて処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	設置基数	基	0	0	0	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	1,450
正職員人件費 (B)		千円	384	381	380	388
総事業費 (A+B)		千円	384	381	380	1,838

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	農業振興資金特認資金分（合併処理浄化槽設置費用）融資機関（農協）が農業者に貸付ける農業振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金（継続枠0件、新規枠0件）0千円	

**事業開始背景**

平成8年度より公共下水道の整備されていない地域の水洗化、公共用水域の水質汚濁防止の推進を図るための合併処理浄化槽の設置に係る助成金制度が実施され、これを補完する事業として、設置費用の残額に対する貸付を行っている。

**事業を取り巻く環境変化**

助成金制度の補助世帯数は減少傾向にあり、貸付については令和元年度で終了した。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	住宅建設と並行して整備する場合、住宅の融資とまとめて融資を受ける事例もある。また、近年では浄化槽の整備が進んでいることから、申請は少ない。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	貸付条件を見直したとしても、必要最小限の投資となることに変わりない。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？

コスト	ある	理由根拠	現在、農業振興資金の原資を預託しており、直接の支出を生じていないので、負担の少ない手法である。
	なし		

事業名：鳥獣被害防止対策事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業被害等をもたらす鳥獣

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	対象鳥獣	種類	4	5	5	5
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

鳥獣被害対策実施隊を設置するなど、関係機関との連携により対策を講じる。また、「有害鳥獣駆除助成事業補助金交付要領」に基づき、鳥獣被害防止対策を行う団体等の事業に対して補助する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	鳥獣被害対策実施隊出動数	回	194	249	208	272
活動指標 2	鳥獣被害対策実施隊派遣数	人(のべ)	387	481	496	505

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

鳥獣による農業被害を減少させる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	鳥獣捕獲数	頭・羽	167	163	124	170
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	57	65	62	65
正職員人件費 (B)		千円	2,690	2,670	2,662	2,719
総事業費 (A+B)		千円	2,747	2,735	2,724	2,784

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	鳥獣による農業被害拡大防止のための捕獲活動等	捕獲活動等経費 62千円 このほか、江別市鳥獣被害防止対策協議会へ直接交付される国費を活用	

**事業開始背景**

ペットとして持ち込まれたアライグマが野生化し、農産物への被害が問題化した。アライグマは繁殖力が強く、毎年駆除し続ける必要がある。平成14年度まで、道央農業協同組合が捕獲したものは研究材料として、酪農学園大学に無償で引き取られていたが、平成15年度から有償となったため、処理経費の一部を市で助成することとなった。

**事業を取り巻く環境変化**

エゾシカ等の鳥獣による農業被害が増えている状況を受け、平成25年10月、鳥獣被害防止特措法に規定される被害防止計画を策定し、関係機関の連携により協議会を組織し、対策を講じることとした。平成26年度以降は国の補助事業を活用し、協議会による鳥獣の捕獲を進めてきたところだが、近年、全国各地で同補助金の不正受給の事例が相次いだため、協議会による適正事務がより一層求められるようになった。令和元年度に市内でヒグマが出現したことを受け、交付税措置の対象とするため、令和2年4月、市の鳥獣被害防止計画の対象鳥獣として新たにヒグマを追加した。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	

事業名：江別産農畜産物ブランディング事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策	(2) 農畜産物の高付加価値化				
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	882	882	882
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

〈小麦〉「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦の安定供給への支援に対して補助する。  
 〈黒毛和牛〉「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。  
 ①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額（小麦関係）	千円	1,847	1,583	1,520	1,559
活動指標 2	精液購入等補助金額	千円	700	610	590	700

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

農畜産物の安定生産及び安定供給を図ることで、既存商品の維持や新商品開発等につなげるとともに、市民への認知度を高めていく。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	特産品の認知回数	品目	2	2	2	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	2,547	2,193	2,110	2,259
正職員人件費 (B)		千円	3,844	3,815	3,804	3,884
総事業費 (A+B)		千円	6,391	6,008	5,914	6,143

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>小麦生産団体への補助</li> <li>和牛生産団体への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブランド化小麦地域安定供給支援事業補助 1,520千円</li> <li>黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 590千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

小麦品種「ハルユタカ」は全国的に知名度があり、特に江別産のイメージが強く、ブランド化できる品種として有望である。しかし、「ハルユタカ」は収量が不安定なことから、全道的に収穫量が減少し、これに伴って種子生産量も減少した。市内の作付面積確保には種子を自前で用意する必要がある。本事業では種子不作時の補てんを目的とした基金を設立し、種子生産拡大を誘導することによって「ハルユタカ」生産量の拡大を目指すこととした。

**事業を取り巻く環境変化**

黒毛和牛については、飼料価格や素牛価格の高騰、枝肉取引価格の下落等、肉牛生産農家は厳しい状況に直面している。中力系小麦品種「きたほなみ」は、パンやラーメンでは「ハルユタカ」のブレンド用粉として使用され、うどんやお菓子にも使用されている江別産小麦製品として無くてはならない品種だが、現行の国の農業政策である経営所得安定対策においては、パンや中華麺用の強力・超強力系品種への交付金に加算措置を設けるなどの作付誘導策がとられており、市内においても「ゆめちから」をはじめとした強力・超強力系品種へ作付をシフトする生産者が増加し、「きたほなみ」の収量確保が困難となる可能性が出てきた。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	成果指標は、すでにブランディングされている小麦「麦の里えべつ」と黒毛和牛「えぞ但馬牛」の2品目で横ばいだが、小麦で加工品に欠かせない小麦品種「きたほなみ」の一定確保につながり、全道の黒毛和種の上物率（枝肉格付けA-5・A-4の割合）は74.5%に対し、江別の黒毛和種「えぞ但馬牛」は95.5%となっていることから、成果は向上していると考えられる。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？			
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	事業を継続し、小麦品種や黒毛和種の安定供給を図ることで、製品の拡大や付加価値の向上につながる
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？			
コスト	ある	理由 根拠	現在の飼料価格や素牛価格の高騰、さらに、国の強力粉加算の動向等を踏まえると、市内で生産される黒毛和牛や小麦品種の安定供給には、現状の支援を継続していく必要がある。
	なし		



事業名：「食」と「農」の豊かさ発見実践事業 農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小中学生及び市民

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,582	8,654	8,689	8,688
対象指標 2	市民	人	119,510	119,883	119,777	119,777

手段（事務事業の内容、手法）

- ・生産者等を講師に小中学生を対象とした農業体験及び加工体験を実施する。
- ・食育を推進するための協議会を開催する。
- ・農業者団体が実施する消費者との交流活動の事業費を補助する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	農業体験学習等延べ実施回数	回	54	44	47	46
活動指標 2	食育推進協議会開催回数	回	0	1	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

「食」についての共通認識のもと、次代を担う小中学生や消費者に、「食ること」の大切さと「地域農業」に対する理解を深めてもらう。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	農業体験学習等延べ参加者数	人	2,918	2,445	2,713	2,961
成果指標 2	参加者の「食」及び「農業」に対する関心度	%	95	100	95.6	100

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	4,020	2,329	2,986	4,501
正職員人件費 (B)		千円	7,303	7,248	6,846	7,380
総事業費 (A+B)		千円	11,323	9,577	9,832	11,881

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生食育事業（農業体験学習等・一部委託）</li> <li>・中学生食育事業（出前授業・レシピコンテスト）</li> <li>・学校給食への地場産牛乳の提供</li> <li>・農業者団体が実施する農業体験への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生食育事業費 2,599千円</li> <li>・中学生食育事業費 149千円</li> <li>・地場産農産物導入支援 75千円</li> <li>・農業体験への補助 100千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
生活様式の多様化や食の消費及び供給構造が大きく変化する昨今、「食」の安全・安心に対する関心が非常に高まっている。このような背景のなか、江別市では平成13年度より小学校などを対象とした農業体験学習を実施してきたところである。 更に、平成17年度には、国の食育基本法の施行に先行して、江別市食育推進協議会を設置し、食育推進ボランティアの育成、地産地消の推進、「食」と「農」の体験学習など、地域の特性を活かした食育のあり方を検証しながら実施してきた。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
食育基本法の施行に伴い、平成23年度に江別市食育推進計画（平成26年度から第2次計画・平成31年度から第3次計画）を策定し、多様な主体による連携・協働、ライフステージごとの食育を推進している。 令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けて、一部の農業体験学習を中止した。

<b>令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p style="text-align: right;">産学官連携の組織である食育推進協議会による食育事業や、市内農家による食育活動が各機関で評価を受けるなど、江別市内にとどまらず、広くその取り組みが知られている。 また、小学校だけでなく中学校を対象とした事業もひろがり、世代に合わせた食育や家庭を巻き込んだ食育事業を展開している。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p style="text-align: right;">市内の希望校数が増加している中で、受け入れ先の農家や機関等を維持、継承することが必要である。 また、事務局以外の実施主体を確保することで、より多くの小中学生が体験する機会を設けることができる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
<p style="text-align: right;">一部を除き、外部委託しているため、これ以上のコスト削減は難しい。</p>		

事業名：都市と農村交流事業

【事業番号 764】  
農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり			
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策	(2) 農畜産物の高付加価値化			
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金 事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	882	882	882
対象指標 2	市民	人	119,510	119,883	119,777	119,777

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流事業に対して補助する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	イベント開催回数	回	15	6	6	11
活動指標 2	各部会等開催回数	回	8	7	9	10

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生産者と消費者との相互理解を深め、グリーンツーリズム関連施設（農作業体験施設、農家レストラン、農産物直売所など）の利用増を図ることで、市民の地産地消や農村地域の活性化につなげる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	596,862	545,905	615,351	598,000
成果指標 2	イベント参加者の満足度	%	100	100	100	100

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	1,010	976	824	1,700
正職員人件費 (B)		千円	5,381	5,340	5,325	5,438
総事業費 (A+B)		千円	6,391	6,316	6,149	7,138

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別「まち」と「むら」の交流推進協議会への補助（協議会の事業内容：野菜作り講習会開催、江別を食べよう！キャンペーン実施、直売所MAP作成、農産物加工品ブランド認証シール作成、加工品フェア開催など）</li> <li>6次産業化支援のための農業者等への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会への補助</li> </ul>	824千円

<b>事業開始背景</b>
農業への関心を高めてもらう機会を提供する場として、産地直売所や貸し農園（観光農園）などを通じた「まち」と「むら」のふれあい交流・体験活動を行っていきこうと市内の産地直売所17ヶ所と貸し農園6ヶ所により、江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会が平成17年5月24日に設立された。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
消費者との交流を図りながら、ニーズに応えた活動を展開している。令和2年からは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人流の抑制等が求められる状況にある。

<b>令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>施設の利用者数については、干ばつによる作物の不作や価格の乱高下の影響で減少した施設もあるが、新たに直売所がオープンしたことにより、全体数は増加している。イベントは、新型コロナウイルスの影響によって計画どおり実施できなかったが、開催できたイベントは引き続き高い満足度を得た。</p>
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>施設の利用者数については、干ばつによる作物の不作や価格の乱高下の影響で減少した施設もあるが、新たに直売所がオープンしたことにより、全体数は増加している。イベントは、新型コロナウイルスの影響によって計画どおり実施できなかったが、開催できたイベントは引き続き高い満足度を得た。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>新型コロナウイルスの感染者数が増減を繰り返している中で、この状況下でもできる範囲でイベントを再開しているものの、天候や物価によっても施設利用者数は変動するため、利用者数を大きく増加させていくことは難しい。今後も様々な手法で情報発信等を継続していくことが重要であると考えます。</p>
成果向上余地	理由根拠	<p>新型コロナウイルスの感染者数が増減を繰り返している中で、この状況下でもできる範囲でイベントを再開しているものの、天候や物価によっても施設利用者数は変動するため、利用者数を大きく増加させていくことは難しい。今後も様々な手法で情報発信等を継続していくことが重要であると考えます。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	理由根拠	<p>各種イベント等の開催に係る必要最低限のコストで実施しているため、これ以上のコスト削減は難しい。</p>
コスト	理由根拠	<p>各種イベント等の開催に係る必要最低限のコストで実施しているため、これ以上のコスト削減は難しい。</p>

事業名：酪農経営安定技術高度化支援事業

【事業番号 997】  
農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内酪農家

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	酪農家戸数	戸	37	37	37	37
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- ・「産学官連携畜産技術高度化促進支援事業実施要綱」に基づき、江別市ホルスタインショウに係る経費の一部に対して補助を行う。（補助率1/2以内）
- ・「酪農ヘルパー支援事業実施要綱」に基づき、酪農ヘルパー人件費の一部に対して補助を行う。（補助率1/2以内）

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,158	700	700	1,050
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生産性の向上と就業環境の整備が図られ、持続可能で安定した酪農経営ができる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	酪農家 1戸当たり乳量	t	571.8	605.9	587.6	605.9
成果指標 2	酪農ヘルパー利用延べ回数	回	444	560	566	560

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	1,158	700	700	1,050
正職員人件費 (B)		千円	5,381	4,577	5,325	5,438
総事業費 (A+B)		千円	6,539	5,277	6,025	6,488

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度	・酪農ヘルパーの人件費の一部に対して助成を行う。	・酪農ヘルパー人件費への補助 700千円

**事業開始背景**

本事業は、酪農家の経営安定と技術の高度化を図るという共通の目的をもった2つの事業（産学官連携畜産技術高度化促進事業・酪農ヘルパー支援事業）を統合したものである。

**事業を取り巻く環境変化**

継続的な酪農振興と経営の安定化を図るため、優秀な乳牛の優劣を競い合うとともに飼養管理技術の情報交換が必要である。また、家畜飼養の特殊性から農休日の確保が困難であり、担い手が定着しにくい状況となっていることから、酪農ヘルパー事業を積極的に支援することによる酪農業後継者の育成・確保に適した環境の整備が必要となっている。令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、人流抑制が必要となりホルスタインショウの開催が難しい状況となっている。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和3年度のホルスタインショウは中止となったが、これまでの事業補助効果の蓄積により、乳量の増加等の成果も上がっている。酪農ヘルパーの利用も進んでおり、酪農家の負担軽減につながっている。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
ホルスタインショウでの飼養管理技術の意見交換により、優良牛の育成は既に高いレベルに達しており、乳量に関しては大きく向上することは期待できない。 ヘルパー利用数に関しては、ヘルパーの担い手不足が利用回数の制限要因となっているため、人員が確保できれば向上する余地がある。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
ヘルパー支援事業は、市の補助金が運営の大きな支えとなっており、削減されれば事業の実施が困難となる。 また、江別市ホルスタインショウについても補助金を削減することにより、イベントの開催自体が困難になる。		

事業名：次世代就農定着サポート事業

【事業番号 1002】  
農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	その他

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

就農予定者及び若手農業者

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	50歳未満農業者数（30年度まで45歳未満）	人	247	229	229	229
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

農業次世代人材投資資金（経営開始型）を支給し、就農直後の経営を支援する。  
・江別市農業次世代人材投資事業（経営開始型）交付要領

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	農業次世代人材投資資金支給件数	件	11	14	13	12
活動指標 2	50歳未満の新規就農相談件数（30年度まで45歳未満）	件	4	5	2	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

50歳未満農業者の増加（30年度まで45歳未満）

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	50歳未満農業者の割合（30年度まで45歳未満）	%	28.6	28.6	28.6	28.6
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	17,524	17,926	19,016	23,250
正職員人件費 (B)		千円	3,075	3,052	3,043	3,107
総事業費 (A+B)		千円	20,599	20,978	22,059	26,357

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	国の実施要綱に基づく農業次世代人材投資資金（経営開始型）の支給	農業次世代人材投資資金	19,016千円

**事業開始背景**

農業者の高齢化が進んでおり、持続可能な地域農業を実現するためには若い就農者の増加・定着が必要である。

**事業を取り巻く環境変化**

平成24年度から国の実施要領に基づく青年就農給付金（経営開始型）制度が運用開始された。対象の範囲や所得要件など毎年度内容が見直しされている状況にあり、平成29年度では、農業次世代人材投資事業（経営開始型）として見直し、今後も実態に即した改正が見込まれる。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	新規就農者は定着しており、今後も継続して就農者が見込まれる。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	新規就農者の定着に有効な事業ではあるが、国の制度であり、動向を注視する必要がある。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	当事業は国の制度に基づいて実施しているものであり、コストの削減は困難である。
	なし			



事業名：農村環境改善センター維持管理費 農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	昭和54年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農村環境改善センター

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

農村環境改善センターの維持・管理に要する経費

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	維持・管理経費	千円	2,598	2,514	2,359	2,500
活動指標 2	開設日数	日	326	293	276	359

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

農村環境改善センターが適切に運営管理される。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	利用者数	人	1,875	878	1,052	1,800
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	2,598	2,514	2,359	2,500
正職員人件費 (B)		千円	1,153	1,144	1,141	1,165
総事業費 (A+B)		千円	3,751	3,658	3,500	3,665

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	農村環境改善センターの管理運営、維持修繕	・改善センター職員給与	799千円
		・光熱水費等	724千円
		・消防設備保守、浄化槽管理料等	511千円
		・修繕費等	232千円

<b>事業開始背景</b>
農業者のための農業経営の改善、農村生活の向上及び健康の増進を図るため、江北地区及び野幌地区に農村総合整備モデル事業により建設した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
開設から約40年が経過する中で、施設全体が老朽化しており、維持管理に問題が生じている。江北地区の旧農村環境改善センターについては、平成29年4月にオープンした都市と農村の交流センター（えみくる）に機能を移転した。

<b>令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）</b>						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>新型コロナウイルス感染症の感染予防のため休館した期間があるほか、地元自治会や高齢者クラブによる自主的な利用自粛の影響で、年間総利用人数は予定を下回った。</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	<p>新型コロナウイルス感染症の感染予防のため休館した期間があるほか、地元自治会や高齢者クラブによる自主的な利用自粛の影響で、年間総利用人数は予定を下回った。</p>	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	<p>新型コロナウイルス感染症の感染予防のため休館した期間があるほか、地元自治会や高齢者クラブによる自主的な利用自粛の影響で、年間総利用人数は予定を下回った。</p>				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>施設の老朽化が進行しているが、施設利用者に支障を来すことがないよう計画的な維持補修に努めることで施設の利便性は保たれており、新型コロナウイルス感染症の流行下においても一定の利用ニーズはあることから、今後の利用方法によっては成果の向上も可能であると考えます。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; text-align: center;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	<p>施設の老朽化が進行しているが、施設利用者に支障を来すことがないよう計画的な維持補修に努めることで施設の利便性は保たれており、新型コロナウイルス感染症の流行下においても一定の利用ニーズはあることから、今後の利用方法によっては成果の向上も可能であると考えます。</p>	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	<p>施設の老朽化が進行しているが、施設利用者に支障を来すことがないよう計画的な維持補修に努めることで施設の利便性は保たれており、新型コロナウイルス感染症の流行下においても一定の利用ニーズはあることから、今後の利用方法によっては成果の向上も可能であると考えます。</p>				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> <p>施設全般の老朽化により、改修の必要箇所が毎年のように発生する状況であり、今後は大規模改修も視野に入れて検討を進める必要がある。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; text-align: center;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	<p>施設全般の老朽化により、改修の必要箇所が毎年のように発生する状況であり、今後は大規模改修も視野に入れて検討を進める必要がある。</p>	なし	
ある	理由 根拠	<p>施設全般の老朽化により、改修の必要箇所が毎年のように発生する状況であり、今後は大規模改修も視野に入れて検討を進める必要がある。</p>				
なし						

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

花き・野菜栽培技術指導センター

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

施設の運営管理を指定管理者に委託する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	9,567	9,655	7,873	7,873
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理運営を適切に行い、花き・野菜の生産振興の拠点機能を発揮させる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	管理運営上の不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	9,567	9,655	7,873	7,873
正職員人件費 (B)		千円	2,306	2,289	2,282	2,330
総事業費 (A+B)		千円	11,873	11,944	10,155	10,203

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	施設の運営管理を指定管理に委託する。	指定管理料	7,873千円

**事業開始背景**

花き栽培に適した気象条件や流通条件を活かした特色ある都市近郊型農業を目指して、花きの研究開発や実証展示の拠点として設置した。

**事業を取り巻く環境変化**

平成18年度より指定管理者制度を導入。令和2年11月9日付で、(株)フラワーテクニカえべつより市有財産である栽培棟(1号棟・2号棟・3号棟・4号棟)を取得したい旨の要望があり、栽培棟を移管するため、江別市花き・野菜栽培技術指導センター条例の一部を改正した。令和3年3月26日に公布、令和3年4月1日に施行されることになったため、令和3年3月29日付で変更協定を締結した。  
また、管理物件が変更となったことから、収支計画の見直しを依頼し、令和3年度の指定管理料は7,873千円とすることで合意した。

**令和3年度の実績による担当課の評価(令和4年度7月時点)**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか? 成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか?

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	▶	花き・野菜生産振興の拠点としての施設機能が発揮されている。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地(可能性)はありますか? その理由は何ですか?

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	▶	適切な施設の管理運営により、現在の施設を最大限稼働させているため、成果が向上する余地は少ない。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト(予算や所要時間)を削減する方法はありませんか?

コスト	ある	理由根拠	▶	施設の維持管理に係る必要最低限のコストで運営されているため、これ以上のコスト削減は難しい。
	なし			

事業名：排水路維持管理経費

【事業番号 5038】

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	その他

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業用排水路

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	排水路の数	条	59	59	59	59
対象指標 2	排水路延長	m	68,730	68,730	68,730	68,730

手段（事務事業の内容、手法）

江別市土地基盤整備事業規則に基づき床浚いは事業費の2/3、草刈は事業費の1/2を補助する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,054	2,891	5,972	2,039
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

農業用排水路の排水能力を維持する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	排水路床浚い延長	m	1,100	1,310	1,470	1,040
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	2,054	2,918	6,025	2,139
正職員人件費 (B)		千円	2,306	2,289	2,282	2,330
総事業費 (A+B)		千円	4,360	5,207	8,307	4,469

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・第9次江別市排水路改修5ヶ年計画に基づき補助金を支出	・農事組合への補助金	5,972千円

**事業開始背景**

江別市の農業用排水路は昭和30年代を中心に造成された素堀水路が多く、経年劣化が著しいため、定期的に床浚い等の維持管理作業を行わなければならないことから、昭和51年に本事業を開始した。5年単位で計画を作成し、現在は第9次（平成29年度～令和3年度）である。

**事業を取り巻く環境変化**

本事業実施地区のうち7地区は平成19年度から農地・水・環境保全向上対策に移行し、その中で維持管理作業を実施することとなった。その後、他地区でも多面的機能支払交付金（旧農地・水・環境保全向上対策）による維持管理作業が行われるようになったため、平成27年度から本事業実施地区は2地区（角山・協和）となった。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>5ヶ年計画に基づき毎年ヒアリングを実施し、予算内で最も効率が上がるように路線を選定していることから、期待どおりの成果が上がっている。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>すでに予算内で最も効率が上がるように路線を選定して実施していることから、更なる成果向上の余地はない。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
<p>地元の工夫で床浚いは安価な時期に発注し、作業への参加や土砂置き場の提供等を行っている。また、草刈りも直営施行で行うなど地元の負担は大きく、高齢者が多い農村地区の現状を考慮するとコスト削減のためにこれ以上の負担増は厳しい。</p>		

事業名：江別麦の会支援事業

【事業番号 6054】  
農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別麦の会

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	会員数	人	38	40	40	38
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別麦の会を円滑に運営する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	視察等対応件数	件	2	2	1	2
活動指標 2	会合回数	回	1	1	0	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生産、加工、流通、消費、研究などに関わる各分野の交流を深めることで、麦の生産振興を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	事業数	回	1	0	0	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	2,306	2,289	2,282	2,330
総事業費 (A+B)		千円	2,306	2,289	2,282	2,330

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
3年度	・「江別麦の会」や江別産小麦等に関する取材対応	人件費事業

事業開始背景
平成10年の「焼き菓子コンペ」実行委員会により、地元産小麦の生産・消費振興活動を継続するため江別麦の会が結成された。
事業を取り巻く環境変化
江別小麦をめぐる活動が全国的に認められ注目されている。また、江別経済ネットワークなど他団体との交流が活発。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;"> <p>会との交流等により、栽培の難しい「ハルユタカ」の生産技術が確立され、高い需要に対し一定程度の供給ができるようになったこと、また、農商工連携による「江別小麦めん」の商品開発等が評価を得ており、「麦の里えべつ」を広くPRしている。</p> <p>一方で、小麦をめぐる環境が変化し、新たな課題も出てきていることから、麦の会の会合等での意見交換に留まっている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	<p>会との交流等により、栽培の難しい「ハルユタカ」の生産技術が確立され、高い需要に対し一定程度の供給ができるようになったこと、また、農商工連携による「江別小麦めん」の商品開発等が評価を得ており、「麦の里えべつ」を広くPRしている。</p> <p>一方で、小麦をめぐる環境が変化し、新たな課題も出てきていることから、麦の会の会合等での意見交換に留まっている。</p>	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	<p>会との交流等により、栽培の難しい「ハルユタカ」の生産技術が確立され、高い需要に対し一定程度の供給ができるようになったこと、また、農商工連携による「江別小麦めん」の商品開発等が評価を得ており、「麦の里えべつ」を広くPRしている。</p> <p>一方で、小麦をめぐる環境が変化し、新たな課題も出てきていることから、麦の会の会合等での意見交換に留まっている。</p>				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;"> <p>これまでも会の活動として各分野との交流を通じて、生産振興を図ってきた。</p> <p>今後も会の活動を通じて、意見交換等の交流を深め、生産振興を図っていくが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、人流のある事業の実施が困難な状況にある。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	<p>これまでも会の活動として各分野との交流を通じて、生産振興を図ってきた。</p> <p>今後も会の活動を通じて、意見交換等の交流を深め、生産振興を図っていくが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、人流のある事業の実施が困難な状況にある。</p>	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	<p>これまでも会の活動として各分野との交流を通じて、生産振興を図ってきた。</p> <p>今後も会の活動を通じて、意見交換等の交流を深め、生産振興を図っていくが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、人流のある事業の実施が困難な状況にある。</p>				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;"> <p>本事業は、会の運営及び事業による人的交流の活性化を目的としており、人件費削減の考え方になじまない。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	<p>本事業は、会の運営及び事業による人的交流の活性化を目的としており、人件費削減の考え方になじまない。</p>	なし	
ある	理由 根拠	<p>本事業は、会の運営及び事業による人的交流の活性化を目的としており、人件費削減の考え方になじまない。</p>				
なし						



政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

酒米生産者及び市民

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	酒造好適米「彗星」作付農家戸数	戸	5	5	4	5
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別産米を原料とした地酒を委託方式により醸造するため、生産・流通・販売に関する企画立案を支援する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	会合回数	回	2	1	1	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市内で生産された米を使用して、地酒「瑞穂のしずく」を造り、地酒のPRをするとともに、江別産米の消費を拡大する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	「瑞穂のしずく」販売量	リットル	9,793	8,548	8,527	13,308
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,537	2,289	2,282	2,330
総事業費 (A+B)		千円	1,537	2,289	2,282	2,330

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新酒販売に係るPRの開催</li> <li>・総会の実施</li> <li>・「瑞穂のしずく」に関する取材対応</li> </ul>	人件費事業	

<b>事業開始背景</b>
市内の米消費拡大を目的として地酒を開発するため「江別の米で酒を造ろう会」が発足した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
平成21年からは「瑞穂のしずく」の酒粕を使用した商品も販売されているほか、平成27年からは「瑞穂のしずく」の無濾過生原酒を販売している。 近年の若者の日本酒離れによる消費の落ち込みに加え、令和2年からは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、飲食店需要の落ち込みが起きている。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、飲食店での消費が大きく落ち込んだ。また、新酒発表会やバスツアーを中止したことでPRできなかったことも影響し、販売量が伸びなかった。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>全国的にも飲酒する機会の減少やイベント自粛等の逆風が強く、短期的には消費量を拡大する余地は小さいが、「瑞穂のしずく」をPRしていくためには引き続き支援が必要な状況にある。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>会員の役割分担を明確にした必要最低限の人員費となっている。</p>		

事業名：日本型直接支払交付金

【事業番号 6201】  
農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農地・農業施設の保全等のために活動する組織

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	活動組織数	団体	9	9	9	9
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

活動組織に対して江別市多面的機能支払交付金事業交付要領に基づき交付金を支払う。  
なお、国費分を含めた道費として交付金総額の75%が市に交付されるため、市の負担分は25%である。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	交付金	千円	189,312	189,114	189,101	189,132
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域の共同活動を支援することにより、農業・農村の有する多面的機能が適切に維持、発揮される。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	対象農用地面積	ha	5,898	5,897	5,897	5,898
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	189,510	189,237	189,230	189,256
正職員人件費 (B)		千円	5,765	5,722	5,705	5,826
総事業費 (A+B)		千円	195,275	194,959	194,935	195,082

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	・農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して交付金を支出	・多面的機能支払交付金事業交付金	189,101千円
		・保全情報記録システム使用料・回線費	123千円

**事業開始背景**

農業の持続的発展と農業施設の持つ農業以外の役割である多面的機能の発揮を図るためには、基盤となる農地・水・環境の保全と質的向上を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進する必要があるが、過疎化・高齢化等の進行に伴う集落機能の低下により、適切な資源の保全管理が困難となってきている。本事業は地域農業者を中心とした活動組織による農地、農業施設の保全管理を進めるだけでなく、非農業者の参画により新たな共同活動の仕組みをつくり、生産資源はもとより環境資源の保全活動を推進していくことを目的に開始された。

**事業を取り巻く環境変化**

農村地域の過疎化、高齢化により地域の農業者だけでは農業基盤施設の維持をしていくことが難しい状況になっていることから、非農業者の参画など地域だけではない新たな農村コミュニティの形成を目指していく必要がある。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>毎年一定額を支援することで、活動組織の活動が安定的に行われ、その中で経験を重ねてきたことにより、生産・環境資源の保全向上が年々図られてきている。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>現在ある9つの活動組織が活動することにより、一定程度の維持管理及び環境整備の向上が期待できる。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
<p>事業費（交付金）は、対象農用地面積に単価を乗じたものとなっていることから、面積が変わらなければ事業費も変わらない。よって、コストを削減することはできない。</p>		

事業名：6次産業化支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	平成28年度	終了年度	令和 3年度	区分1	廃止	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	882	882	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

地域おこし協力隊による「都市と農村の交流センター」内に設置されたテストキッチンの操作指導等により、農業者の6次産業化を支援する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	協力隊員数	人	1	1	1	0
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

6次産業化の推進及びテストキッチンの利用促進を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	テストキッチン利用者数	人	214	213	207	0
成果指標 2	交流センター利用者数	人	26,718	13,802	13,760	0

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	2,367	2,502	2,556	0
正職員人件費 (B)		千円	769	763	761	0
総事業費 (A+B)		千円	3,136	3,265	3,317	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	テストキッチンの操作指導等による6次産業化の支援	・地域おこし協力隊報酬	2,280千円
		・活動用車両維持管理費	143千円

<b>事業開始背景</b>
食の安心・安全への関心が高まる中で、6次産業化に取り組む農業者を支援し、新たな担い手の育成について支援していくことを目的に事業を開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
江別の食と農の魅力発信や地域イベント等を通して都市部と農村地域の交流を図るため、平成29年4月に「都市と農村の交流センターえみくる」が開設した。 令和2年度からは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、休館や利用制限（人数や飲食不可）が必要となった。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p style="background-color: black; color: white;">上がっていない</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 小</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	理由根拠	<p>ある</p> <p style="background-color: black; color: white;">なし</p>

事業名：都市と農村の交流センター管理運営事業 農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策				
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

都市と農村の交流センター

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

施設の管理運営を指定管理者に委託する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	22,018	22,220	22,106	22,622
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）




施設の管理運営を適切に行い、施設の効用を発揮させる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	利用者数	人	26,718	13,802	13,760	18,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	22,150	22,409	22,284	22,822
正職員人件費 (B)		千円	2,306	2,289	2,282	2,330
総事業費 (A+B)		千円	24,456	24,698	24,566	25,152

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	施設の管理運営を指定管理者に委託する。	指定管理料	22,106千円
		施設等修繕費	178千円

<b>事業開始背景</b>
農村地域の中でも市街地からのアクセスが容易な旧江北中学校跡地を活用し、市内の農業者をはじめ多様な人的資源のネットワークにより、食と農の魅力を発信し、都市部の住民との交流の輪を市内全域、さらには札幌圏へと広げることを目指し、「食」と「農」により学びと活力を生み出す、新たな体験・交流拠点として設置した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
平成29年度より指定管理者制度を導入。令和3年度に更新。

<b>令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<input type="checkbox"/> 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由 根拠  新型コロナウイルス感染症予防のため、休館や利用制限の実施に伴い、年間総利用人数は減少している。
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由 根拠  新型コロナウイルス感染症の感染予防を図りながら行える自主事業や、流行下においても感染リスクの低い利用なども出てきており、新たな利用形態を模索する中で、今後も指定管理者の適切な運営が推進されれば、利用者の確保が見込める。
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> なし	理由 根拠  施設の維持管理に係る必要経費のみを計上しているため、コストの削減は難しい。



政策	02 産業	戦略	
取組の基本方針	01 都市型農業の推進	具体的施策	
開始年度	令和 2年度	終了年度	令和 3年度
	区分1	継続	区分2
	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

新型コロナウイルス感染症によりアルバイト先の確保が難しい市内大学生を労働力の一助として雇用する農業者

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1 想定対象農家戸数	戸	0	100	54	0
対象指標 2					

手段(事務事業の内容、手法)

市内大学に通う大学生または市内在住の大学生等をアルバイトとして雇用した農業者に対して給付する。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1 給付額	円	0	4,291	4,816	0
活動指標 2					

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

短期の労働力としてパート労働力を雇用したい農業者に対し、新型コロナウイルス感染症の影響による域内経済の停滞によってアルバイト先が見つからない大学生等の雇用促進を図るため、賃金や交通費等学生を雇用するために必要な費用の一部として給付するもの。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1 給付金交付件数	件	0	23	28	0
成果指標 2					

事業費の推移	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)	千円	0	4,291	4,819	0
正職員人件費(B)	千円	0	381	1,141	0
総事業費(A+B)	千円	0	4,672	5,960	0

事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
3年度 1日につき、3時間以上の雇いで1人あたり1,000円を給付。 5時間以上雇用の場合はさらに1,000円を上乗せして2,000円を給付。	給付金 4,816千円 給付決定通知等郵送料 3千円

**事業開始背景**

農繁期の農業労働力が慢性的に不足している一方で、新型コロナウイルス感染症の域内経済の停滞により、小売・飲食等の事業者も休業や営業時間の短縮を余儀なくされ、アルバイトとして雇用されている学生も収入面で大きな影響を受けている。

**事業を取り巻く環境変化**

収入がなくなった、または減少したアルバイト従業員が、農作業パートに雇用を求める事例が発生している。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
R2の結果を受け、農業者の声を聞きながら、短時間雇用の学生も対象に追加した結果、延べ雇用日数は増加したものの、利用戸数が5戸の増となったのみで、想定戸数に対し50%程度にとどまった。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
交付金を財源としており、事業期間が限定的であるため。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
必要最小限のコストで実施している。		

事業名：江別経済ネットワーク事業

【事業番号 62】  
商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標						
対象(誰、何に対して事業を行うのか)						
大学、研究機関、企業などから参加する経済ネットワークの会員						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	経済ネットワーク会員数	人	195	196	196	196
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)						
例会(講演、研究成果発表、情報交換等)の開催						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	経済ネットワーク例会開催回数	回	2	0	0	2
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)						
例会などを通して参加者間の連携を進め、研究や事業活動を活性化する。						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	例会参加者数	人	49	0	0	50
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	22	0	0	56
正職員人件費(B)		千円	3,844	381	380	1,554
総事業費(A+B)		千円	3,866	381	380	1,610

年度	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
3年度	・江別経済ネットワークの例会の開催(中止)	・江別経済ネットワーク講師謝礼 0円 ・江別経済ネットワーク例会会場費 0円

<b>事業開始背景</b>
大学や研究機関などが集積する環境を活かし、大学・研究機関・企業などからの参加者間の連携を進めることによって交流や共同研究を促し、新規産業の創出や既存企業の高度化などを図り、新製品の開発や雇用拡大につなげることを目的としている。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
平成14年の事業開始から、江別ブランド事典や江別小麦めんなど新しい取組が生まれた。近年は江別経済ネットワークをきっかけとした会員同士の交流が定着しており、同ネットワークを介さない取組みにもつながっている。

<b>令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p style="text-align: center;">新型コロナウイルスの影響により、例会を開催中止としたため。</p>
上がっている	理由根拠	
どちらかといえば上がっている	理由根拠	
<b>上がっていない</b>	理由根拠	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p style="text-align: center;">新型コロナウイルスの影響により、集会形式の例会の開催が難しいが、開催手法を工夫することで、成果が向上する余地はある。</p>
成果向上余地 大	理由根拠	
<b>成果向上余地 中</b>	理由根拠	
成果向上余地 小	理由根拠	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	理由根拠	<p style="text-align: center;">例会の実施にあたっては、必要最低限のもの以外を受益者負担でまかっている。また、人件費については、最小の人数で行っており、削減は難しい。</p>
ある	理由根拠	
<b>なし</b>	理由根拠	

事業名：企業立地等補助金

【事業番号 64】

企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	その他

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市において立地等(新設・増設・設備更新・本社機能移転)を検討している企業

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標1 補助金交付企業数	社	11	11	9	14
対象指標2					

手段(事務事業の内容、手法)

「江別市企業立地等の促進に関する条例」に基づき補助金を交付  
 対象：①製造加工施設 ②環境エネルギー関連施設 ③試験研究施設 ④物流関連施設 ⑤植物工場 ⑥情報関連施設  
 ⑦コールセンター ⑧本社機能を有する事務所又は事業所  
 種類：①立地補助金…家屋、償却資産の固定資産税相当額を交付  
 ②雇用補助金…新規雇用者に対して、市内居住者は20万円(障がい者は20万円加算)、市外居住者は10万円を交付  
 ③下水道使用料補助金…各月当たり500mを超える部分の年間使用料の1/2の額を交付  
 ④設備更新補助金…償却資産のうち機械及び装置の固定資産税相当額を交付  
 ⑤本社機能移転補助金…立地補助金、雇用補助金と同様の補助金を交付するほか、賃借する場合は賃料の1/2の額を交付

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標1 補助金額	千円	65,302	61,238	46,667	59,122
活動指標2					

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

市内へ企業が立地する。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標1 補助金交付件数(累計)	件	34	35	35	42
成果指標2					

事業費の推移	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)	千円	65,302	61,238	46,667	59,122
正職員人件費(B)	千円	3,844	3,815	3,804	3,884
総事業費(A+B)	千円	69,146	65,053	50,471	63,006

事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
3年度 江別市企業立地等の促進に関する条例に基づき補助金を交付	立地等を行った企業への補助金 46,667千円

**事業開始背景**

市民の雇用機会の拡大と税収増及び地域経済の発展・活性化を図るための市内への企業立地を促進すべく、事業を開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

地方が独自性を持った政策を進め、一方では少子高齢社会に対応した施策を展開するためには、企業等の立地による税収増や人口増を図ることが重要である。  
 このような環境の中、新規立地の決め手の1つとなる助成制度は、目標とする企業のニーズを取り入れることが求められている。当市では食品関連産業の誘致を進めていることから、他産業と比した補助の投資要件の緩和や下水道使用に対する補助の新設などを行い、平成26年度から施行した。  
 また、変化する経済情勢や企業動向に対応すべく、令和2年度から規則の一部を改正し、交付要件の緩和や本社機能移転に対する補助の追加等を行った。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	令和3年度は9件に対して補助金を交付し、成果は向上している。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	令和3年度は、工業用地や物流施設用地などに関する問い合わせが25件（うち食品関連産業は4件）あったことから、今後も成果の向上が見込まれる。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？

コスト	ある	理由根拠	立地補助金の交付は、近隣市町村も企業進出時や事業拡大時の支援のひとつとしており、江別市よりも交付額が多い市町村も少なくない。交付額を削減すると、企業が進出候補先自治体の支援状況を比較した際に、江別市が候補から外れる可能性があるため、コスト削減余地はない。
	なし		

事業名：企業誘致推進事業

企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業	戦略						
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

企業・事業所

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1 企業・事業所数	社	348,322	338,238	340,064	338,238
対象指標 2					

手段(事務事業の内容、手法)

- ・道庁、産業支援機関、企業情報調査会社等からの情報収集
- ・企業、産業支援機関等へのPR活動
- ・立地を検討している企業への情報提供、立地支援等

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1 企業との接触数(訪問、来訪、イベント等)	社	197	163	133	100
活動指標 2 誘致関係機関との接触数(官公庁、団体)	社	27	29	13	10

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

道内外企業・事業所を江別市へ誘致する。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1 立地企業・事業所数(土地・建物の賃借による操業を含む)	社	1	5	2	3
成果指標 2					

事業費の推移	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)	千円	567	690	949	1,416
正職員人件費(B)	千円	11,531	11,444	4,564	4,661
総事業費(A+B)	千円	12,098	12,134	5,513	6,077

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問</li> <li>・首都圏等で開催する企業誘致イベントへの出展</li> <li>・パンフレット等による情報発信</li> <li>・企業誘致に係る情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業訪問、イベント出展に係る旅費 140千円</li> <li>・企業信用調査 329千円</li> </ul>

**事業開始背景**

新たな企業が市内に進出することで、雇用及び税収の増加や市内経済の活性化につながることから、企業に対し江別市が魅力ある場所であることを積極的にPRすることでその実現につなげるため、本事業を開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

人口減少に悩む自治体間で誘致競争は厳しさを増しているが、当市の分譲地は残り1区画となっている。RTNパーク第1期計画の未造成地は約6.2haあり、今後の用地の確保が検討課題である。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">                 企業誘致活動は、成果を生むまで長時間を要することから単年度の数値にとらわれる必要はないものとするが、一方で、新規立地等に適した準工業用地、工業地域、工業専用地域に市有地（分譲地）や譲渡可能な民有地が少ない中で、年間数社の新規立地企業があることから、少なからず成果は出ている。             </td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	企業誘致活動は、成果を生むまで長時間を要することから単年度の数値にとらわれる必要はないものとするが、一方で、新規立地等に適した準工業用地、工業地域、工業専用地域に市有地（分譲地）や譲渡可能な民有地が少ない中で、年間数社の新規立地企業があることから、少なからず成果は出ている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	企業誘致活動は、成果を生むまで長時間を要することから単年度の数値にとらわれる必要はないものとするが、一方で、新規立地等に適した準工業用地、工業地域、工業専用地域に市有地（分譲地）や譲渡可能な民有地が少ない中で、年間数社の新規立地企業があることから、少なからず成果は出ている。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">                 職員の誘致対応能力や情報収集能力の向上により、小さいながら成果向上の余地がある。                  抜本的には、企業が立地できる用地を確保しなければ成果の向上は難しいが、立地する企業の動向を見極めながら、未利用の民間所有地の情報把握に努めることで成果の向上が見込まれる。             </td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	職員の誘致対応能力や情報収集能力の向上により、小さいながら成果向上の余地がある。 抜本的には、企業が立地できる用地を確保しなければ成果の向上は難しいが、立地する企業の動向を見極めながら、未利用の民間所有地の情報把握に努めることで成果の向上が見込まれる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	職員の誘致対応能力や情報収集能力の向上により、小さいながら成果向上の余地がある。 抜本的には、企業が立地できる用地を確保しなければ成果の向上は難しいが、立地する企業の動向を見極めながら、未利用の民間所有地の情報把握に努めることで成果の向上が見込まれる。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">                 過去にスクラップアンドビルドにより費用対効果が少ないと判断した事業を廃止しており、現在大きなコスト削減の余地はない。             </td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	過去にスクラップアンドビルドにより費用対効果が少ないと判断した事業を廃止しており、現在大きなコスト削減の余地はない。	なし	
ある	理由 根拠	過去にスクラップアンドビルドにより費用対効果が少ないと判断した事業を廃止しており、現在大きなコスト削減の余地はない。				
なし						



事業名：商工業活性化事業

商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業		戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興		具体的施策				
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・中小企業団体
- ・中小企業者
- ・商店街団体
- ・個人

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	中小企業所数	所	3,351	3,351	3,351	3,351
対象指標 2	商店街組合数	件	7	5	5	5

手段(事務事業の内容、手法)

- ・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。
- ・共同施設等の整備、商店街の景観向上整備(ハード事業)や、イベント、人材育成、新製品・新技術の開発、販路拡大等(ソフト事業)に対する補助メニューがある。
- ・事業開始前に申請書を受受理し補助金の交付決定を行い、事業終了後は報告書の提出を受ける。
- ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市商工業活性化事業補助要綱」に基づき、市内の商工業の活性化に対する効果が認められる事業に対し、補助率1/10~7/10の範囲内(限度額400~8,000千円)で補助する。
- ・補助金の活用により商工業の活性化につながるよう、周知や個別支援のサポートを行う。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,421	174	816	2,330
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

商店街の景観整備やイベント、新商品開発、人材育成等により事業者の活力向上並びに商店街の魅力向上を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	補助金の活用件数(ハード事業)	件	0	1	0	2
成果指標 2	補助金の活用件数(ソフト事業)	件	10	5	13	13

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	1,421	423	1,058	2,572
正職員人件費(B)		千円	5,381	3,052	3,043	2,330
総事業費(A+B)		千円	6,802	3,475	4,101	4,902

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う人材育成やイベント事業に対して補助する。</li> <li>・商店街の建築協定に基づき、れんが・れんがタイル等を店舗外観に使用し、景観向上による商店街の活性化に対し補助する。</li> <li>・制度の周知や個別支援のサポートを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「商店街等顧客サービス向上事業」「イベント事業」「研修・研究活動事業」「地域資源による製品等開発事業」「見本市等出展事業」「共同情報発信事業」等に係る補助金 816千円</li> <li>・制度の周知や個別支援に係る委託経費 242千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

大型店の出店、価格破壊等に伴う商業環境の変化により、商店街を中心とする中心市街地が空洞化するなど地域の核である商店街にとっては厳しい経済状況が続いており、活性化するためのハード、ソフトの事業が必要なため。

**事業を取り巻く環境変化**

大型複合商業施設の開業などにより、商店街を取り巻く環境は危機的な状況が続いていることから、産業構造の変化や消費者ニーズの多様化等に対応しうる地場産業を育成し、地域経済の活性化を促すため、その力となる人材育成、製品・技術開発等を支援しなければならない。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">                 新型コロナウイルス感染症の影響から、イベント開催に伴う当補助金の活用は減少したものの、研修・研究活動事業での当補助金の利用が増えたことから、相談件数が増加した。             </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルス感染症の影響から、イベント開催に伴う当補助金の活用は減少したものの、研修・研究活動事業での当補助金の利用が増えたことから、相談件数が増加した。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルス感染症の影響から、イベント開催に伴う当補助金の活用は減少したものの、研修・研究活動事業での当補助金の利用が増えたことから、相談件数が増加した。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">                 研修・研究活動事業での活用件数が増加していることと、新型コロナウイルス感染症が収束した後、イベント等において当補助金の利用が増えることを見込んでいるため、向上の余地はある。             </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	研修・研究活動事業での活用件数が増加していることと、新型コロナウイルス感染症が収束した後、イベント等において当補助金の利用が増えることを見込んでいるため、向上の余地はある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	研修・研究活動事業での活用件数が増加していることと、新型コロナウイルス感染症が収束した後、イベント等において当補助金の利用が増えることを見込んでいるため、向上の余地はある。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">                 ソフト系事業については、一定の予算額で設定し、申請に対して支援を行っていることから、現状コストの削減は難しい。             </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	ソフト系事業については、一定の予算額で設定し、申請に対して支援を行っていることから、現状コストの削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	ソフト系事業については、一定の予算額で設定し、申請に対して支援を行っていることから、現状コストの削減は難しい。				
なし						

事業名：江別商工会議所補助金

【事業番号 76】  
 商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業		戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興		具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

商工会議所(中小企業相談所)

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	商工会議所	所	1	1	1	1
対象指標 2	商工会議所会員数	所	850	854	870	878

手段(事務事業の内容、手法)

- ・江別商工会議所が実施する経営指導、各種相談業務等に対して補助する。
- ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別商工会議所補助金交付要領」に基づき、江別商工会議所に対し、中小企業相談所運営費の1/2、関係団体運営費の1/2を補助する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	8,575	8,482	8,575	8,575
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

公平な機関として、中小企業者の成長発展を促進するための経営相談等のサービスを提供する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	経営指導件数	件	606	336	377	336
成果指標 2	相談件数	件	2,176	1,845	1,617	1,845

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	8,575	8,481	8,575	8,575
正職員人件費(B)		千円	1,537	1,526	761	1,554
総事業費(A+B)		千円	10,112	10,007	9,336	10,129

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	江別商工会議所が実施する経営指導、各種相談業務等に対して補助する。	江別商工会議所補助金	8,575千円

<b>事業開始背景</b>
地域経済の発展、商工業者の経営安定を図るべく商工会議所の果たす役割は重要であり、経済状況の変化に的確に対処すべく経済状況分析等中小企業者全般に関わる事業に対して補助する。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
新型コロナウイルス感染症の影響等により長引く景気の低迷から、経営環境、金融環境の悪化が続いており、特に信用力の乏しい中小企業においては厳しい状況が続いている。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>		
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
指導件数は微増しているものの、コロナ禍前と比較すると数字の回復はほとんど見られない状況であり、相談件数については、昨年度と比較すると減少している。ただ、現状の厳しい経済環境下では、今後も経営指導・相談の重要性は高いと考えられる。		
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
新型コロナウイルス感染症の影響から集団講習会等の開催が減少したこともあり、指導件数及び相談件数が低迷しているが、コロナ禍における資金繰りなどに係る案件が今後増えるが見込まれる。		
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
道からの補助金もあるが、十分な運営を行えるものではなく、これ以上の補助金の削減は、業務の停滞に繋がり中小企業者へ影響を与えることになるため、コストの削減は難しい。		

事業名：江別市商店街振興組合連合会補助金

商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業		戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興		具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市商店街振興組合連合会

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	連合会加入組合等の数	組合	5	5	5	5
対象指標 2	連合会加入組合傘下の商店等の数	所	68	68	68	68

手段(事務事業の内容、手法)

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」に基づき、江別市商店街振興組合連合会の指導事業費の1/2を補助する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	800	651	651	800
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

商店街の組織化、近代化を推進するとともに、商店街の振興発展と連合会の運営の円滑化を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	会員への事務処理等指導件数	件	7	3	1	5
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	800	651	651	800
正職員人件費(B)		千円	769	763	761	777
総事業費(A+B)		千円	1,569	1,414	1,412	1,577

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	江別市商店街振興組合連合会指導事業に対し補助金を支出	江別市商店街振興組合連合会指導事業への補助金 651千円	

<b>事業開始背景</b>
商業振興、商店街の活性化、街づくりのための各種事業を行う江別市商店街振興組合連合会を積極的に支援する。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
長引く不況や集客力の格差、大型店の影響などにより、連合会加入参加の商店数が減少している。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>	
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
<b>成果動向及び原因分析</b> 上がっている どちらかといえば上がっている <b>上がっていない</b>	<b>理由根拠</b> 新型コロナウイルス感染症の影響から、各種イベント事業や市内商店街の活性化に向けた事業を行うといった活動が停滞したことから、会員への指導を行う機会も減少した。
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
<b>成果向上余地</b> 成果向上余地 大 <b>成果向上余地 中</b> 成果向上余地 小	<b>理由根拠</b> 新型コロナウイルス感染症の収束後、経済活動が徐々に再開されれば、商店街の活性化に向けた各種事業の動きが見られ、会員に対しての指導件数も増加することが見込まれる。また、他の事業との連動により、件数の増加が期待できる。
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
<b>コスト</b> ある <b>なし</b>	<b>理由根拠</b> 北海道商店街振興組合と江別市からの補助金が収入の3割を占めている経営基盤の弱い団体であり、市の補助金削減は、連合会の運営に大きな影響を及ぼす可能性があるため、コストの削減は難しい。

事業名：シルバー人材センター事業補助金

【事業番号 88】

商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

高齢者の就業を支援する団体

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	高齢者の就業を支援する団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「公益社団法人江別市シルバー人材センター補助金交付要領」に基づきシルバー人材センターに対し、同センターの管理運営費(人件費・事務運営費等)を補助する。補助額は国の補助基準に基づき決定する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	23,339	23,339	23,339	23,339
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

高齢者の経験と技術を生かした就業の場を提供する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	(社)江別市シルバー人材センター受注事業費	千円	207,012	238,270	224,970	238,270
成果指標 2	(社)江別市シルバー人材センター延就業者人数	人日	43,308	50,975	48,661	50,975

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	23,339	23,339	23,339	23,339
正職員人件費(B)		千円	769	763	761	777
総事業費(A+B)		千円	24,108	24,102	24,100	24,116

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	シルバー人材センターへの補助	補助金	23,339千円

<b>事業開始背景</b>
高齢社会における高齢者への就業機会の提供と社会活動の創造の重要性
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
国の補助基準に基づき市の補助額を決定している。平成27年度より派遣実績に対する補助項目が追加されたが、江別市シルバー人材センターはそれ以前より派遣事業に力を入れており、補助額が増額した。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>新型コロナウイルスの影響により、受注事業費、延就業者人数ともに減少しているが、一定水準を維持しており、今後も請負可能な契約数を維持することが見込まれる。</p> </td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	<p>新型コロナウイルスの影響により、受注事業費、延就業者人数ともに減少しているが、一定水準を維持しており、今後も請負可能な契約数を維持することが見込まれる。</p>	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	<p>新型コロナウイルスの影響により、受注事業費、延就業者人数ともに減少しているが、一定水準を維持しており、今後も請負可能な契約数を維持することが見込まれる。</p>				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;"> <p>生産年齢人口の減少により、市内企業における労働力不足も生じており、新規開拓の強化等により就業機会の拡大を実現する余地がある。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	<p>生産年齢人口の減少により、市内企業における労働力不足も生じており、新規開拓の強化等により就業機会の拡大を実現する余地がある。</p>	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	<p>生産年齢人口の減少により、市内企業における労働力不足も生じており、新規開拓の強化等により就業機会の拡大を実現する余地がある。</p>				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;"> <p>シルバー人材センターに対する国の補助額は市の補助額が上限となっており、市が補助額を削減すると国の補助額も減少することから、経営に対する悪影響が大きい。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	<p>シルバー人材センターに対する国の補助額は市の補助額が上限となっており、市が補助額を削減すると国の補助額も減少することから、経営に対する悪影響が大きい。</p>	なし	
ある	理由 根拠	<p>シルバー人材センターに対する国の補助額は市の補助額が上限となっており、市が補助額を削減すると国の補助額も減少することから、経営に対する悪影響が大きい。</p>				
なし						



事業名：勤労者研修センター管理運営事業 商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策				
開始年度	昭和58年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

勤労者研修センター

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	9,194	9,290	9,273	10,130
活動指標 2	開館日数	日	288	262	230	293

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

勤労者の研修等を実施するため、施設の維持管理・運営を適切に行う。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	利用者数	人	13,488	6,831	5,366	12,882
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	9,194	9,290	9,273	10,130
正職員人件費(B)		千円	1,153	763	761	1,165
総事業費(A+B)		千円	10,347	10,053	10,034	11,295

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	江別市勤労者研修センター管理運営費として、指定管理者へ管理代行させる	・指定管理料	9,273円

<b>事業開始背景</b>
市内中小事業所への研修施設提供による人材育成支援
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
産業構造の高度化 昭和58年のセンター設立時より産業構造は大きく変化を遂げた。産業構造の高度化によるサービス産業の伸張に伴い、従業員の商品知識・接客技術の習得の必要性が高まっている。

<b>令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）</b>	
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
成果動向及び原因分析	上がっている
	どちらかといえば上がっている
	上がっていない
理由根拠	緊急事態宣言の発令に伴う施設休館や、外出自粛等の影響を受けて、利用者数は減少している。今後、感染対策を徹底したうえで、利用促進の働きかけを行っていく必要がある。
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
成果向上余地	成果向上余地 大
	成果向上余地 中
	成果向上余地 小
理由根拠	商工業団体等勤労者研修のみを目的としたものだけではなく、教育団体や福祉団体等を広く受け入れている。
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
コスト	ある
	なし
理由根拠	指定管理者に委託することで、経費を抑えて運営している。

事業名：勤労者生活資金貸付事業

【事業番号 93】  
商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策				
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標						
対象(誰、何に対して事業を行うのか)						
市内在住及び市内事業所に勤務する従業員						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市内事業所従業者数	人	33,426	33,426	33,426	33,426
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)						
市内同一事業所に1年以上勤務又は市内に1年以上在住し同一事業所に勤務する従業員を対象に、100万円を上限として一般生活資金等を融資する。						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	勤労者生活資金貸付制度預託額	千円	3,500	3,500	3,500	3,500
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)						
低利率の融資により、市内勤労者の生活安定に寄与する。						
指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	新規生活資金利用者数	件	3	2	1	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	3,500	3,500	3,500	3,500
正職員人件費(B)		千円	384	381	380	388
総事業費(A+B)		千円	3,884	3,881	3,880	3,888

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	市内同一事業所に1年以上勤務又は市内に1年以上在住し同一事業所に勤務する従業員を対象に、100万円を上限として一般生活資金等を融資する。	・貸付金	3,500千円

<b>事業開始背景</b>
勤労者に対するセーフティネット構築の必要性
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
景気低迷の長期化により勤労者の給与が低下傾向で推移する中、勤労者の生活安定を図るための貸付制度の必要性。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>	
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
成果動向及び原因分析	上がっている
	どちらかといえば上がっている
	上がっていない
理由根拠	貸付件数は減少しているが、感染症や物価高騰などの影響により、今後も貸付実績を維持していくことが見込まれる。
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
成果向上余地	成果向上余地 大
	成果向上余地 中
	成果向上余地 小
理由根拠	制度の周知方法の改善により、成果が向上する余地はある。
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
コスト	ある
	なし
理由根拠	預託額は必要最小限に抑えている。

事業名：勤労者福祉共済制度助成事業

【事業番号 94】

商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策							
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市勤労者共済会

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	勤労者共済会加入者数	人	909	909	1,026	909
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

江別市勤労者共済会の管理運営費の一部として、江別市勤労者福祉共済制度助成事業補助金交付要領に基づき、補助金を交付する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,125	2,336	2,393	2,394
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

市内の中小企業等の従事者の福祉向上に寄与する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	各種共済給付金給付額	千円	3,624	4,085	3,782	3,460
成果指標 2	各種福利厚生事業費	千円	2,085	1,681	1,274	1,930

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	2,125	2,336	2,393	2,394
正職員人件費(B)		千円	384	381	380	388
総事業費(A+B)		千円	2,509	2,717	2,773	2,782

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	江別市勤労者共済会に対し、運営費の一部を補助する。	・補助金	2,393千円

**事業開始背景**

市内中小企業への福利厚生事業支援による生活基盤の改善

**事業を取り巻く環境変化**

新型コロナウイルスの影響により、従業員の雇用維持やテレワークへの対応など企業を取り巻く環境は大きく変化している中、勤労者の福祉増進を担う勤労者共済会の役割はより重要となっている。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">                     新型コロナウイルスの影響を受けて、福利厚生事業等を一部中止したことにより、成果指標は減少している。しかし、SNSの活用等により会員事業所数が大幅に伸びたため、今後も一定の成果を得ることが見込まれる。                 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルスの影響を受けて、福利厚生事業等を一部中止したことにより、成果指標は減少している。しかし、SNSの活用等により会員事業所数が大幅に伸びたため、今後も一定の成果を得ることが見込まれる。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルスの影響を受けて、福利厚生事業等を一部中止したことにより、成果指標は減少している。しかし、SNSの活用等により会員事業所数が大幅に伸びたため、今後も一定の成果を得ることが見込まれる。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">                     会員数の増加等により、成果が向上する余地はある。                 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	会員数の増加等により、成果が向上する余地はある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	会員数の増加等により、成果が向上する余地はある。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">                     事務に係る1人分の人件費を補助しており、これ以上のコスト削減は難しい。                 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	事務に係る1人分の人件費を補助しており、これ以上のコスト削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	事務に係る1人分の人件費を補助しており、これ以上のコスト削減は難しい。				
なし						

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成11年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

**事務事業の目的と成果及び指標**

**対象(誰、何に対して事業を行うのか)**

野幌駅周辺地域  
「野幌駅周辺地区活性化計画における対象区域」

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	野幌駅周辺の面積	h a	8	8	8	8
対象指標 2						

**手段(事務事業の内容、手法)**

・市民交流や市民活動の拠点づくりと、活性化活動団体や商店街等の行う地域の活性化に向けた取り組みを支援する。  
・「江別の顔づくり支援促進事業補助金交付要綱」に基づき、江別の顔づくり事業を推進し、野幌駅周辺で活動する団体等に対し、事業費の7/10(事業費30万円以上のもの)を補助する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	356	0	0	700
活動指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの数	回	9	2	2	9

**意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)**

街なかに賑わいを醸し、商業等の活性化を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	活性化活動拠点の利用者数	人	3,297	1,119	799	1,119
成果指標 2	野幌駅周辺で開催した地域活性化イベントの参加者数	人	61,600	0	0	61,600

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	356	0	0	700
正職員人件費(B)		千円	1,922	381	761	2,330
総事業費(A+B)		千円	2,278	381	761	3,030

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)
3年度	江別の顔づくり事業の推進に寄与する地域活性化事業に対する補助	事業中止

事業開始背景	
江別の顔づくり事業は、野幌駅を中心とした南北市街地を一体化し、「コンパクトな市街地の形成」や商業・業務、交通、文化・交流、居住などの「都市機能の充実による中心市街地活性化」を目的として、平成7年度の江別市新総合計画への位置付け以来、事業を推進している。	
事業を取り巻く環境変化	
H18. 6. 20都市計画決定（鉄道高架事業、土地区画整理事業、街路事業） H18. 11. 9事業認可告示（鉄道高架事業） H18. 11. 24事業計画決定（土地区画整理事業） H23. 6. 14事業認可告示（街路事業）	

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
「江別顔づくり事業」の一環として行われている道路拡幅工事等の影響から、歩行者通行量が減少したほか、新型コロナウイルスの影響で野幌駅周辺のイベントが中止となったため。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
新型コロナウイルスが収束し、野幌駅周辺のイベントが開催可能となれば、成果が向上する可能性がある。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
江別の顔づくり事業完了に伴う記念行事を想定した予算額を設定し、補助金の申請に対して支援するため、コスト削減余地は少ない。なお、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で記念行事が延期となっている。		



事業名：旧岡田倉庫活用事業

【事業番号 743】

商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業		戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興		具体的施策				
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 団体運営補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

旧岡田倉庫活用民間運営協議会

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	旧岡田倉庫活用民間運営協議会会員数	人	23	23	23	0
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

アトスペース外輪船を芸術文化活動等の拠点として運営する協議会に対して「旧岡田倉庫活用事業補助金交付要領」に基づき補助金を交付し、芸術文化事業の推進を支援する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,000	1,000	1,000	0
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

市民が芸術文化活動等の発表の場や自由に交流する空間としてアトスペース外輪船を活用することにより、江別の歴史や文化的な価値の高さを啓発するとともに、周辺地域の活性化に寄与する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	事業等開催数	回	89	46	119	0
成果指標 2	利用者数	人	2,176	381	1,332	0

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	11,743	11,915	75,373	0
正職員人件費(B)		千円	10,762	10,681	9,128	0
総事業費(A+B)		千円	22,505	22,596	84,501	0

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>「旧岡田倉庫活用事業補助金交付要領」に基づき補助金を交付</li> <li>平成12年度に取得した旧岡田倉庫用地購入費に係る土地開発基金買戻し分(平成30年度から令和5年度までの6年間で償還)</li> <li>かわまちづくり協議会やワーキンググループの開催</li> <li>旧岡田倉庫の移設先地の取得、旧岡田倉庫移設工事に係る事前調査等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金 1,000千円</li> <li>投資関係公有財産購入費 10,733千円</li> <li>かわまちづくり協議会等開催経費 3,161千円</li> <li>旧岡田倉庫移設先地取得関係費 60,470千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

平成16年度に江別市街地区の活性化を図る一環で、地域の歴史的価値の高い「旧岡田倉庫」を後世に残すとともに、新たな地域文化の発信拠点として、北海道の「地域文化ネットワーク形成促進事業」を活用し、「アートスペース外輪船」として再生した。

**事業を取り巻く環境変化**

小規模ながら、趣のあるアートスペース外輪船の魅力が内外に定着してきている。演劇を主体とする団体が隣接地に移転してくるなど相乗効果が生まれ始めている。芸術文化事業のほか、幅広い活用がなされてきている中、平成28年度には、江別市指定文化財として登録を受けている。また、開発局札幌開発建設部において石狩川・千歳川の堤防整備計画が進められており、旧岡田倉庫の土地が用地買収の対象となっているため、旧岡田倉庫移転等に係る協議が必要である。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td>上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                     新型コロナウイルスの影響で、密集を避けるためイベント当たりの参加人数が減少傾向にあったが、イベント開催回数は増加した。                 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルスの影響で、密集を避けるためイベント当たりの参加人数が減少傾向にあったが、イベント開催回数は増加した。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	新型コロナウイルスの影響で、密集を避けるためイベント当たりの参加人数が減少傾向にあったが、イベント開催回数は増加した。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td>成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                     新型コロナウイルスが収束すれば、成果向上はあり得る。また、協議会にて、今後の活用方法を再検討・協議することで、成果が向上する可能性がある。                 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	新型コロナウイルスが収束すれば、成果向上はあり得る。また、協議会にて、今後の活用方法を再検討・協議することで、成果が向上する可能性がある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	新型コロナウイルスが収束すれば、成果向上はあり得る。また、協議会にて、今後の活用方法を再検討・協議することで、成果が向上する可能性がある。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1"> <tr> <td>ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">                     老朽化した施設を必要最低限の費用で管理運営しており、コストの削減は難しい。                 </td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	老朽化した施設を必要最低限の費用で管理運営しており、コストの削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	老朽化した施設を必要最低限の費用で管理運営しており、コストの削減は難しい。				
なし						

事業名：江別駅前再開発事業

【事業番号 806】  
企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策				
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

えべつみらいビルを中心とした江別駅周辺地区

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	えべつみらいビルテナント部分床面積	坪	1,296.72	1,296.72	1,296.72	1,296.72
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

江別駅前活性化の拠点施設である株S P Cみらいの業務棟(えべつみらいビル)、福祉棟の健全な事業遂行・経営安定を図るため、えべつみらいビルの3、4階フロアを20年間借上げ

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	えべつみらいビル3、4階賃借料	千円	118,843	118,843	118,843	118,843
活動指標 2	入居率(ビル全体)	%	46	55.9	68.9	100

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

コールセンター等をえべつみらいビルに誘致することで地区の昼間人口を増加し、地区の経済・社会を活性化する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	江別駅周辺地区の新規開業数	件	19	13	20	17
成果指標 2	江別駅乗降客数	人/日	7,315	7,260	5,556	7,260

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	118,889	118,889	118,889	118,889
正職員人件費(B)		千円	3,844	3,815	2,282	2,330
総事業費(A+B)		千円	122,733	122,704	121,171	121,219

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	・えべつみらいビル3、4階の賃借	・えべつみらいビル3、4階賃借料 118,843千円	

**事業開始背景**

江別地区市街地の活性化はまちづくり市民会議等、地元が長年にわたって取り組んできた課題であった。これらから発展した(有)みらいの設立等、地元の活性化への取り組みと連動して本事業を開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

えべつみらいビル完成当初の入居率は6割程度であったが、平成21年度に3、4階フロアが満床となり、平成24年度には全フロアが満床となった。  
平成27年10月に入居企業が業務拡張により転居したことで、2、3階フロアが空室となった。  
平成28年度は2階に2社が入居、平成29年度には2階に1社、3階に1社が入居（増床）したが、令和元年度には1階の入居企業が退居した。  
令和2年度では2階空室部分への短期間の入居があったほか、3階に1社が入居（増床）した。  
令和3年度は1階に1社が入居した。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	▶	雇用の確保、商業施設の操業により一定の成果が出ている。 また、えべつみらいビルへの企業誘致活動により、入居検討に関する問い合わせも受けていることから、少しずつ成果は向上している。
	<b>どちらかといえば上がっている</b>			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	▶	えべつみらいビルへの企業誘致活動を継続し、1、2、3階の空室を解消することで成果の向上が見込まれる。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由根拠	▶	みらいビルの賃借料は、平成19年に締結した契約に基づくものであり、契約期間の令和9年まで賃借料の改定は行わないものと定められているため、コスト削減は困難である。
	<b>なし</b>			

政策	02 産業			戦略				
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

中小企業者

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	中小企業所数	所	3,351	3,351	3,817	3,351
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

北海道や物産流通関係団体等が実施する物産展、商談会等のマーケティング支援を最大限活用するなど、関係機関、団体等と連携しながら、地域内外での地場産品の販路拡大を推進する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	商談会・催事出展件数	件	10	4	3	10
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

販路拡大や商品開発・ブランド化に向けて、商談会や催事への企業出展が促進される。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	商談会・催事出展企業数	社	64	29	18	64
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	382	248	326	520
正職員人件費(B)		千円	6,918	6,103	6,846	6,991
総事業費(A+B)		千円	7,300	6,351	7,172	7,511

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別産品試食評価相談会開催</li> <li>商談会、物産展(明治屋ストア「美味しい江別フェア」ほか)への参加支援</li> <li>江別産品リストの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別産品試食評価相談会開催経費 24千円</li> <li>商談会、物産展(明治屋ストア「美味しい江別フェア」ほか)への参加支援 193千円</li> <li>江別産品リスト印刷費 72千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

安心安全な道産食品への需要の高まりが見られることから、江別産品を道内外、特にマーケットの大きい首都圏へ発信する機会が求められているため、食を軸とした地場産品の販路拡大を図る。  
併せて観光プロモーションを実施することにより周遊観光客の誘客を図る。

**事業を取り巻く環境変化**

食の安全安心に対する消費者の意識が高まる中、道産食材を使用した商品の需要は高く、市内事業者の生産規模を考慮しながら、江別産品の販路拡大・情報発信の支援を行う必要がある。  
そのため、市内事業者に対し、商談会や催事の開催情報の提供や出展とりまとめを行うほか、バイヤー向けの「江別産品リスト」の作成、市・商工会議所・観光協会が連携し、首都圏を中心とした明治屋店舗における「美味しい江別フェア」を開催している。  
しかし、新型コロナウイルスの感染症の影響により、商談会の中止や試食・対面販売等が困難な状況が多くみられ、販路拡大事業に大きな影響を及ぼしている。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

		(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、予定していた商談会・催事の開催自体が相次いで中止となったため、出展企業数が伸びなかった。 。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		
		(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による商談会や催事の中止がなければ、出展機会が増え、出展企業数の向上も見込める。 また、新規事業者の中でも特に小規模事業者については、人手や供給数、商品の日持ち等の制限があることから、道内外への販路拡大を積極的にに行いにくい状況にある。市内事業者の置かれている状況やニーズを把握し、支援（商品開発や既存商品のブラッシュアップ、販路拡大に向けた相談会開催等）を行っていくことで、商談会・催事への出展企業数が向上すると考える。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		
		(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
コスト	ある	理由根拠	市内小規模事業者の多くが道内外への販路拡大のため、商品開発や既存商品のブラッシュアップ、販路拡大のノウハウ取得を必要としている。また、出展料等のコスト支援を求める声も多い。 これまで事業費削減を進めてきたが、今後道内外への販路拡大による事業効果を上げるためには、行政と事業者が一体となって取り組んでいく必要があり、これには一定のコストを要する。
	なし		

事業名：総合特区推進事業

【事業番号 1005】  
企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業	戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり						
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策	(1) 健康増進活動の推進						
開始年度	平成24年度	終了年度	令和 3年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区(フード特区)計画に取り組む組織・機関・団体等

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1 特区協議会構成員数	団体	86	86	85	0
対象指標 2					

手段(事務事業の内容、手法)

- ・食の高付加価値化  
食品の評価試験システム「江別モデル」を推進するための補助金交付等
- ・海外市場の開拓  
海外市場開拓・販路拡大を支援するための補助金交付及び海外催事出展等の海外市場開拓支援事業の実施
- ・食のまちPR  
首都圏企業等へのフード特区事業PR

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1 食品の臨床試験ボランティア登録者数	人	11,288	12,027	13,025	0
活動指標 2 補助金額	千円	6,919	6,890	6,971	0

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

食関連産業の立地環境整備を側面的に支援することで、食関連企業・研究施設等の新規立地や、既存企業の事業拡大による増設を促進し、食関連企業の集積を図る。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1 食関連企業の新増設数	社	0	1	0	0
成果指標 2 健康企業・健康事業所宣言等認定数(平成31年度から)	社	28	33	36	0

事業費の推移	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)	千円	13,412	10,523	11,998	0
正職員人件費(B)	千円	7,687	7,629	7,607	0
総事業費(A+B)	千円	21,099	18,152	19,605	0

事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
3年度 ・フード特区機構の運営等に係る経費の負担金を支出 ・機能的食品開発を支援する補助金を交付 ・海外市場開拓・販路拡大を支援する補助金を交付 ・海外催事出展、海外バイヤーとの商談会の開催のほか、外国語PR動画・冊子の制作による情報発信	・フード特区機構負担金 349千円 ・機能的食品開発支援補助金 6,500千円 ・海外市場開拓等促進補助金 471千円 ・海外市場開拓支援事業 4,676千円

**事業開始背景**

平成23年12月、内閣総理大臣より札幌市・江別市・帯広市・十勝管内18町村・函館市が総合特別区域法に基づく国際戦略総合特別区域に指定された。指定を受けた「札幌・江別エリア」は、「食品の安全性・有用性の分析評価と研究開発の拠点」の位置付けであることから、企業誘致推進事業の一環として立地環境整備支援を行い、食関連企業の集積を図る。

**事業を取り巻く環境変化**

- ・平成24年度：フード特区が平成28年度までの5年計画としてスタート。
- ・平成27年度：食品機能性開発に係る補助金の内容等見直しにより補助金額減。
- ・平成28年度：関係自治体等と協議のうえ、平成29年度以降5年間の延長申請を国へ行い、平成29年3月27日付にて認定された。
- ・令和2年度・令和3年度：新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、海外、道外をターゲットとする総合特区推進事業の実施に大きな制約を受けた。（事業の中止、変更）
- ・令和3年度：令和4年3月をもって計画期間が終了となり、特区の指定は解除された。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	<b>どちらかといえば上がっている</b>	
	上がっていない	
「食関連企業の新増設数」について、これまで累計7件の実績があることから、成果はどちらかといえば上がっている。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	<b>成果向上余地 小</b>	
令和3年度をもって事業終了となったため。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	<b>なし</b>	
事業費の大半が補助金・負担金であり、補助率及び補助要件は定まっているため、コスト削減余地は無い。		



事業名：野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業

【事業番号 6162】

商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

野幌商店街

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	野幌商店街	商店街	1	1	1	1
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・地域課題の解決を目的としたコーディネーターを常設し支援を実施する。
- ・「野幌駅周辺地区商店街活性化促進補助金交付要綱」に基づき、野幌商店街の要請により出店するテナントに改装費の1/2(上限:300万円)や家賃の1/2(1年間、月額上限5万円)を補助する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	コーディネーター数	人	1	1	1	1
活動指標 2	補助金額	千円	0	0	0	0

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

1. 街路事業に伴う野幌商店街の再編整備に係る地域課題が解決される。
2. 野幌商店街の集客力向上のため店舗を誘致する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	相談件数	件	99	110	141	80
成果指標 2	誘致件数	件	0	0	0	0

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	2,451	2,450	2,452	2,452
正職員人件費(B)		千円	3,844	3,815	1,521	2,330
総事業費(A+B)		千円	6,295	6,265	3,973	4,782

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	・商店街の地域課題を解決するコーディネーターを常設	・コーディネーター委託費	2,452千円

事業開始背景
<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急雇用創出事業（野幌駅周辺地区活性化事業）の終了後、引き続きコーディネーターを常設し、街路事業による商店街再編等の課題の解決が必要ことから当該事業を開始することとなった。</li> <li>・平成26年度相談件数は、緊急雇用創出事業（4月～9月）で150件、本事業（10月～3月）で112件であり、合計262件となっている。</li> </ul>
事業を取り巻く環境変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少、少子高齢化が進展する中、大型店の寡占化や消費活動の多様化などにより、市内の商店街の衰退が顕著である。</li> </ul>

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	

事業名：工業団地環境整備事業

【事業番号 6194】  
企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

工業団地

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	工業団地(第1、第2工業団地、RTNパーク)の面積	ha	387.9	387.9	387.9	387.9
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・団地内の劣化している道路を改修する。
- ・不必要な給水管を撤去する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	工事費	千円	9,878	0	40,798	51,439
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

団地内の環境を整備することで、企業活動が円滑に進められる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	工事延長	m	54.3	0	297.74	300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	9,878	0	40,798	51,439
正職員人件費(B)		千円	2,306	763	761	777
総事業費(A+B)		千円	12,184	763	41,559	52,216

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
3年度	・工業町9号道路改修工事 延長=297.74m	・道路改修工事費 40,798千円

<b>事業開始背景</b>
工業団地の特性として、一般の道路と比べて大型車両の交通量が多く、舗装の老朽化が進み車両の走行性が著しく低下する状態となる。団地内企業の操業に支障が出ないよう環境を整備する必要があり、本事業を開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
第1・第2工業団地は国道275号に隣接しており交通アクセスが良いため、近年物流関連企業が立地先として注目している。

<b>令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名：中小企業資金融資事業

【事業番号 6222】  
商工労働課 主査(商工労働・商店街)

政策	02 産業	戦略						
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策						
開始年度	平成29年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市内の中小企業者

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標1 市内の事業所数(非農林漁業)	所	3,311	3,311	3,311	3,311
対象指標2					

手段(事務事業の内容、手法)

市が市内金融機関へ必要な資金を預託し、中小企業者に対する低利の融資制度を運用する。また、企業が金融機関から貸付を受ける際、その債務を保証する信用保証協会へ支払う保証料について、全部又は一部を補助する。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標1 新規融資額	千円	227,805	96,000	216,699	585,733
活動指標2 信用保証料補給金額	千円	8,588	3,456	5,794	8,300

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

中小企業者の経営の安定、経営基盤の強化を図る。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標1 新規融資件数	件	77	35	69	92
成果指標2					

事業費の推移	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)	千円	1,137,259	1,008,018	1,022,133	1,241,987
正職員人件費(B)	千円	6,150	3,815	4,564	2,330
総事業費(A+B)	千円	1,143,409	1,011,833	1,026,697	1,244,317

事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
3年度 ・中小企業振興資金融資 ・小規模企業安定資金融資 ・商工業近代化資金融資 ・中小企業信用保証料補給	・貸付金 1,015,446千円 ・斡旋・診断手数料 893千円 ・信用保証料補給金 5,794千円

<b>事業開始背景</b>
景気等の低迷により資金繰りが短期的に悪化した市内中小企業者等に対し資金を低利で融資するための「中小企業振興資金融資事業」、「小規模企業安定資金融資事業・中小企業振興融資診断事業（斡旋）」、経営基盤の強化と活性化を目指す市内中小企業者等に対し必要な資金を低利で融資するための「商工業近代化資金融資事業」、貸付を受ける際の保証料を補助する「中小企業信用保証料補給事業」の4事業を平成29年に統合した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
中小企業庁の調査によると、中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、依然として厳しい状況にある。そのような中、業況や業績は、感染症の流行直後と比較すると緩やかな回復傾向にあるものの、感染症流行前の水準まで回復していない業種も多い。一方で、感染症の影響を受けた事業者に対して行われた資金繰り施策の効果により、倒産は低水準にとどまっていることから、市内でも同様の状況と考えられることから、制度融資事業を推し進めることが求められる。

<b>令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
<p>昨年度と比較すると新規融資件数は増加傾向であるが、コロナ禍前の数字への回復は見られない。新型コロナウイルス感染症の影響から、経営体力が落ちている中、融資を利用しても返済の目途が立たないために、利用に至らない事業者が一定数いることが考えられる。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、徐々に経済活動が再開されてきている状況であることから、今後、新規での融資申し込みが増加する可能性がある。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
<p>利用実績に応じて融資枠を設定していることから、新規の融資申込の増加を見込んでいる中で、コストの削減を行うことは難しい。</p>		

事業名：江別まちなか仕事プラザ事業

【事業番号 6404】

商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内求職者及び市内事業所

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	ハローワーク江別有効求職登録者数	人	0	2,132	2,299	2,299
対象指標 2	市内事業所数	事業所	0	3,351	3,817	3,351

手段(事務事業の内容、手法)

- ①求職者に向けた就職支援セミナー等の実施
- ②市内事業所に向けた人材確保力を向上するセミナー等の実施
- ③企業説明会による人材のマッチング支援
- ④企業交流会等による市内企業の認知度向上に向けた支援

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	登録事業所数	事業所	0	54	93	97
活動指標 2	就職支援セミナーや企業説明会等の開催回数	回	0	130	104	71

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

働きたい人が就職もしくは再就職できるような課題を解決するほか、市内事業所の人材確保に向けた取組を促進し、市内の雇用循環を活性化させる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	就職者数	人	0	157	122	111
成果指標 2	就職支援セミナーや企業説明会等の参加者数	人	0	521	412	500

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	0	22,493	21,867	22,937
正職員人件費(B)		千円	0	6,866	5,325	6,214
総事業費(A+B)		千円	0	29,359	27,192	29,151

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	・拠点施設における求職者及び市内企業向けセミナー等の実施 ・拠点施設における市内事業所説明会等の人材確保の場の提供	・一般委託料(拠点施設運営費)	18,836千円
		・一般使用料賃借料(テナント賃料)	2,811千円
		・維持補修関係工事費(除雪費)	220千円

<b>事業開始背景</b>
新規就業を希望するシニア・女性・学生等の就労意欲の向上及び市内企業における人材確保
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
市内では「シニアや主婦」など潜在的な労働力が増えているほか、4つの大学や3つの公立高校、2つの私立高校があり、年齢問わず、様々な労働力が潜在している。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>	
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
成果動向及び原因分析	上がっている
	<b>どちらかといえば上がっている</b>
	上がっていない
理由根拠	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛や冬期間の大雪の影響により、就職実績等は前年度を上回ることができなかったが、当初の目標は達成しており、今後も就職実績を維持していくことが見込まれる。
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
成果向上余地	成果向上余地 大
	<b>成果向上余地 中</b>
	成果向上余地 小
理由根拠	施設を安定して運営していくことで、市民や事業者への認知度を上げ、利用者数の増加を図る。
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
コスト	ある
	<b>なし</b>
理由根拠	施設運営にかかる費用は必要最小限に抑えている。



政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	令和元年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

外国人技能実習生等とその受入れ企業

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市内外国人技能実習生等	人	225	219	208	210
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・外国人技能実習生等や受入れ企業を対象とした研修会の実施
- ・江別国際センターで実施する「にほんご教室」への開催補助

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	研修会開催数	回	1	0	0	1
活動指標 2	にほんご教室開催補助金額	千円	175	200	200	200

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ・外国人技能実習生等が職場のほか、地域で快適に生活できるようにする。
- ・受入れを希望する企業や、既に受入れている企業が制度等への理解を深めることができるようにする。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	にほんご教室参加延べ人数	人	87	283	188	295
成果指標 2	研修会参加人数	人	27	0	0	27

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	182	200	200	316
正職員人件費(B)		千円	3,844	3,052	1,521	1,554
総事業費(A+B)		千円	4,026	3,252	1,721	1,870

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人技能実習生等や受入れ企業を対象とした研修会の実施(新型コロナウイルス感染症の影響により未実施)</li> <li>・日本語教室開催の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語教室開催への補助</li> </ul>	200千円

**事業開始背景**

平成29年11月に施行された技能実習法や平成31年4月に改正された入管法などを背景に、地方においても外国人技能実習生等の支援が望まれている。  
 技能実習制度の活用によって企業活動が順調に進むよう、企業が制度等への理解を深めるための支援や実習生が地域の一員として快適に過ごすための支援を行うため、本事業を開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

市内の外国人技能実習生は増加傾向にあり、実習生を受入れている市内企業からは、外国人受入れに伴う相談体制の確保や、実習生が日本語を学ぶことができる場所の確保を望む声が多くなっている。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
令和元年度から開始したにほんご教室及び外国人技能実習生等を対象とした研修会だが、令和3年度では、にほんご教室に延べ188人が参加した。 研修会は新型コロナウイルス感染症による影響により開催が見送られたため、成果指標は上がっていないが、今後も市内に居住する外国人技能実習生等の増加が見込まれることから、成果の向上が見込まれる。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和2年5月以降は市内の外国人技能実習生等が微減しているが、今後感染が収束に向かうことで増加が見込まれるため、成果向上の余地がある。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	
今後、外国人技能実習生等の増加が見込まれることに伴い、にほんご教室の内容の充実化が求められる中で、運営を支援するためのコストを削減することは困難である。また、研修会の開催に関する経費は、通訳等に対する謝礼という最低限の経費しか見込んでいないことから、コストの削減は難しい。		

事業名：創業スタートアップ支援事業

【事業番号 6406】  
企業立地課 主査(企業立地)

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	02 商工業の振興	具体的施策							
開始年度	令和元年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

- ・創業に関心がある人や、創業に関する知識の少ない人及び関心があっても行動に起こせていない人
- ・市内で事業を行おうとしている人又は既に行っている人

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,777	119,777
対象指標 2	市内事業所数	所	3,351	3,351	3,817	3,351

手段(事務事業の内容、手法)

- ・市の創業支援事業計画に位置付けられ、市と連携して取り組む創業機運醸成事業に対して補助
- ・中小企業診断士による事業計画等に対する助言
- ・創業に必要な知識を身に付けられるセミナー等の開催
- ・入居企業が応分で支払う共用部賃料を市が負担することで入居企業の賃料を軽減

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	創業に関する相談件数	件	24	35	45	35
活動指標 2	元町アンビシャスプラザ新規入居件数	件	0	2	1	0

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

- ・創業に関する知識の少ない人等の関心と理解が深まり、創業に関心を持つ人が増える。
- ・場所やノウハウの提供、相談業務によって創業や新たな事業展開が増える。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	新規創業数	社	4	10	9	4
成果指標 2	元町アンビシャスプラザ入居区画数	区画	5	7	8	8

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	1,600	4,937	5,094	5,051
正職員人件費(B)		千円	3,844	6,103	2,282	2,330
総事業費(A+B)		千円	5,444	11,040	7,376	7,381

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業診断士(創業支援相談員)による事業計画作成等に対する助言</li> <li>・元町アンビシャスプラザ共用部の賃借</li> <li>・創業支援セミナー、実践創業塾の開催</li> <li>・創業支援等事業者への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援相談員の報酬</li> <li>・元町アンビシャスプラザ共用部賃借料</li> <li>・実践創業塾等の開催経費</li> <li>・創業支援等事業者への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>644千円</li> <li>1,898千円</li> <li>867千円</li> <li>1,600千円</li> </ul>

**事業開始背景**

地域経済活性化を図るため、起業家の発掘と育成を通して、江別らしい新たなブランドづくりのきっかけの場となるように事業を計画し、開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

江別経済ネットワークや大学・研究機関等の連携体制を活用し、起業家を発掘・育成するための環境が整っており、各種講座やセミナー等を通じてPRできる状況にある。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>市の広報誌やホームページでPRや勧誘に努めたことで、計画どおりに成果があがっている。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>相談者やセミナー参加者が創業するには一定の期間を要するため、無料相談やセミナーの開催といった創業支援を継続することで、今後の成果向上が期待できる。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>相談業務に係る報酬は、人材確保の観点からコストの削減を図ることは難しい。また、アンビシャスプラザの共用部の賃借料についても、貸主との協議により平成30年度から賃借料の削減を行っているため、これ以上のコスト削減は困難である。</p>

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	令和 4年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

**事務事業の目的と成果及び指標**

**対象 (誰、何に対して事業を行うのか)**

江別商工会議所

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	商工会議所	所	0	1	1	1
対象指標 2						

**手段 (事務事業の内容、手法)**

新型コロナウイルス感染症の影響による市内業況の悪化に対応するため、江別商工会議所が実施する「住宅リフォーム等工事費支援助成金事業」等に対して補助する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	0	51,276	51,812	75,500
活動指標 2						

**意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)**

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて業況が悪化し、経営に支障を来している中小企業者の成長発展を促進する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	工事件数	件	0	643	550	600
成果指標 2	工事費用総額	千円	0	617,934	533,431	600,000

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	0	51,276	51,812	0
正職員人件費 (B)		千円	0	1,526	761	0
総事業費 (A+B)		千円	0	52,802	52,573	0

事業内容 (主なもの)		費用内訳 (主なもの)	
3年度	江別商工会議所が実施する「住宅リフォーム等工事費支援助成金事業」等に対して補助する。	江別商工会議所補助金 (新型コロナウイルス感染症対策)	51,812千円

**事業開始背景**

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、業況が悪化した事業者を支援するため、江別商工会議所が実施する住宅リフォーム等工事費支援助成金事業等に係る費用を補助する。

**事業を取り巻く環境変化**

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、業況が悪化し、事業者の経営に支障を来している。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	令和2年度実施時は、市の補助限度額に達した後、商工会議所が独自に予算を追加した分、工事件数等が多くなっているが、令和3年度においても、一定の水準を維持しており、今後も建設事業者の支援に寄与することが見込まれる。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	住宅リフォーム等工事費支援助成金は利用希望者が多く、申し込みが殺到することから、予算額や助成額の見直しにより、成果が向上する余地はある。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	必要最小限のコストで実施している。
	なし			

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	令和 4年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市内中小企業者等

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	商品券取扱店舗数	店	0	516	488	0
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

- ・額面6,500円(市内の店舗等で使用可能)のプレミアム付商品券を発行し、1冊5,000円で販売する。
- ・江別市民を対象とし、1世帯あたり2冊(子育て世帯は3冊)までを限度として商品券を販売する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	商品券発行金額	千円	0	1,242,488	476,346	0
活動指標 2	商品券販売冊数	冊	0	95,576	73,284	0

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

新型コロナウイルスの影響を受けて業況が悪化している中、プレミアム付商品券の発行により消費意欲を喚起し、市内事業者の売上増進を図ることで、地域経済の活性化を促す。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	商品券利用総額	千円	0	1,238,271	473,301	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	0	360,117	473,301	0
正職員人件費(B)		千円	0	4,577	0	0
総事業費(A+B)		千円	0	364,694	473,301	0

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	・江別市民に対し、市内の店舗等で使用できるプレミアム付商品券を発行し、販売する。	・商品券利用総額	473,301千円

事業開始背景
新型コロナウイルスの影響を受けて市内業況が著しく悪化している中、消費者の購買意欲を喚起することで、市内事業者の売上増加を図るとともに市内経済の活性化を促す必要があるため。
事業を取り巻く環境変化
新型コロナウイルス感染症の影響により、業況が悪化し、事業者の経営に支障を来している。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）							
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="3">商品券利用総額に対して、38.5%相当の新たな消費喚起効果があり、市内経済の活性化につながっている。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	商品券利用総額に対して、38.5%相当の新たな消費喚起効果があり、市内経済の活性化につながっている。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				商品券利用総額に対して、38.5%相当の新たな消費喚起効果があり、市内経済の活性化につながっている。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="3">商品券の販売率は57.1%であり、販売店舗数や取扱店舗数を増やすことで、販売率向上の余地はある。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	商品券の販売率は57.1%であり、販売店舗数や取扱店舗数を増やすことで、販売率向上の余地はある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				商品券の販売率は57.1%であり、販売店舗数や取扱店舗数を増やすことで、販売率向上の余地はある。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="2">必要最小限のコストで実施している。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	必要最小限のコストで実施している。	なし	
ある	理由 根拠	▶				必要最小限のコストで実施している。	
なし							



政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			具体的施策					
開始年度	令和 3年度	終了年度	令和 3年度	区分1	新規	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象 (誰、何に対して事業を行うのか)

市内飲食店等

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市内飲食店等	店	0	0	400	0
対象指標 2						

手段 (事務事業の内容、手法)

第三者認証の取得を促進するため、北海道の定める要件を満たし、認証を受けた飲食店に10万円の給付金を支給する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	給付金額	千円	0	0	23,700	0
活動指標 2						

意図 (この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

北海道が実施する、飲食店での感染防止対策に必要な事項の取組状況を確認・認証する第三者認証の取得を促進し、市民が安心して飲食店へ来店できる環境を整え、事業の継続、雇用の継続及び市内経済の活性化を促す。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	給付金交付件数	件	0	0	228	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	25,786	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,141	0
総事業費 (A+B)		千円	0	0	26,927	0

事業内容 (主なもの)		費用内訳 (主なもの)	
3年度	第三者認証取得促進給付金 (1店舗あたり10万円)	第三者認証取得促進給付金	23,700千円

**事業開始背景**

新型コロナウイルス感染症の影響により、市内飲食店等の業況が悪化しているため、第三者認証の取得を促進することで、市民が安心して来店できる環境を整え、市内飲食店等の事業継続を図る。

**事業を取り巻く環境変化**

新型コロナウイルス感染症の影響により、業況が悪化し、事業者の経営に支障を来している。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	市内飲食店の事業継続及び雇用維持に重要な役割を果たしている。
	<b>どちらかといえば上がっている</b>			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	交付金を財源としており、事業期間が限定的であるため。
	成果向上余地 中			
	<b>成果向上余地 小</b>			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	必要最小限のコストで実施している。
	<b>なし</b>			

事業名：えべつやきもの市イベント振興事業

【事業番号 79】  
観光振興課 主査(観光振興)

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			具体的施策					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

やきもの市実行委員会

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	10	10	10	10
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

江別市商工労働関係事業補助金交付規則等に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止を余儀なくされた実行委員会に対して、まつりの中止及び継続のために要する経費から、本補助金以外の収入及び前年からの繰越金を差し引いた額の全額(ただし予算の範囲内)を補助金として交付。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	3,000	171	780	1,700
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

江別市のPR、芸術文化の振興及び地域経済の活性化に寄与するとともに、イベントとしての楽しさを創造し一定の来場者数を確保する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	来場者数	人	35,500	0	0	35,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	3,000	171	780	1,700
正職員人件費(B)		千円	1,537	763	761	3,107
総事業費(A+B)		千円	4,537	934	1,541	4,807

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
3年度	・えべつやきもの市実行委員会への補助金交付	・えべつやきもの市イベント振興事業補助金 780千円

**事業開始背景**

えべつやきもの市は、やきもの文化の市民生活への広がりなどを目的とし、平成2年から開催され、以来市より補助をしている。

**事業を取り巻く環境変化**

会場である江別駅周辺の宅地化や江別小学校閉校等により、出展者駐車場の確保が困難になってきたこと、あわせて旧江高跡地と会場を結ぶシャトルバスの確保が困難になったことから、令和2年度以降の会場は江別駅周辺から市役所周辺に移転する予定であった（令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止）。また、実行委員会では、将来的に野幌駅及びEBRI周辺での開催可能性について検討を進めている。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催中止となったため。
	どちらかといえば上がっている			
	<b>上がっていない</b>			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	市内最大のイベントとして、江別市のPR、文化振興及び地域経済活性化に寄与している。一方、新型コロナウイルス感染症及び会場変更が、成果指標にどのような影響を及ぼすか予測が難しいが、成果指標の向上余地は小さいと思われる。
	成果向上余地 中			
	<b>成果向上余地 小</b>			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？

コスト	<b>ある</b>	理由 根拠	▶	令和3年度における会場を市役所周辺とした場合の申請予定補助金額は、シャトルバスの廃止、警備人件費等の減により、前回の江別駅周辺を会場とした場合の補助金額から大幅に減少する見込みであった。
	なし			

事業名：北海鳴子まつり事業補助金

【事業番号 80】  
観光振興課 主査(観光振興)

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

えべつ北海鳴子まつり実行委員会

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	14	14	14	14
対象指標 2	出場チーム数	団体	49	0	0	49

手段(事務事業の内容、手法)

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「北海鳴子まつり事業補助金交付要領」に基づき、北海鳴子まつり実行委員会へ、イベント開催に直接関係のある事業の経費に対し3分の2(上限170万円)の額の補助金を交付

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,700	0	0	1,700
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

市民相互の交流、観光誘客による市内経済の活性化を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	来場者数	人	33,000	0	0	33,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	1,700	0	0	1,700
正職員人件費(B)		千円	769	0	0	777
総事業費(A+B)		千円	2,469	0	0	2,477

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	・えべつ北海鳴子まつり実行委員会への補助金交付		

**事業開始背景**

躍動感あふれる新しい踊りの文化を創造するとともに、市民相互の交流拡大、地域コミュニティの振興を図るまつりとするため、補助を開始した。

**事業を取り巻く環境変化**

札幌で開催されるYOSAKOIソーランまつりが大規模化する中、いわゆる「YOSAKOIブーム」の流れの中で、各地で類似のイベントが多く開催されるようになってきている。北海鳴子まつりも、鳴子チームよりもYOSAKOIチームが多い年もあるなど、鳴子まつりとしての独自性が保ちづらい状況である。  
 しかし、この類いの祭りは、次第に“北海道的”な風物詩ともなりつつあり、えべつ北海鳴子まつりは、類似イベントの中では北海道内でも大規模なイベントとなっている。  
 令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？							
成果動向及び原因分析	<table border="1"> <tr> <td>上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="3">新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	▶	新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	▶				新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため。	
どちらかといえば上がっている							
上がっていない							
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？							
成果向上余地	<table border="1"> <tr> <td>成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="3">北海鳴子まつりは令和元年度に第25回の開催を迎え、江別の夏の風物詩として定着している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年度及び令和3年度は中止となったものの、終息後の取り組みによっては今後も成果向上の余地があると思われる。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	北海鳴子まつりは令和元年度に第25回の開催を迎え、江別の夏の風物詩として定着している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年度及び令和3年度は中止となったものの、終息後の取り組みによっては今後も成果向上の余地があると思われる。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	▶				北海鳴子まつりは令和元年度に第25回の開催を迎え、江別の夏の風物詩として定着している。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和2年度及び令和3年度は中止となったものの、終息後の取り組みによっては今後も成果向上の余地があると思われる。	
成果向上余地 中							
成果向上余地 小							
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？							
コスト	<table border="1"> <tr> <td>ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">▶</td> <td rowspan="2">実行委員会では、既に野幌地区市民まつりとの同時開催を実施しているほか、グッズ販売などによる自主財源の確保など、補助金額減少に努めている。しかし、ステージや音響設備など、一定の固定費がかかるため、補助金の削減は、来場者等へのサービス低下を招くことが危惧される。一方で協賛金の確保については、経済情勢にも左右されるため、大手スポンサーや企業ぐるみの参加があれば、コスト削減の可能性はあるが、現時点では難しい。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: black; color: white;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	▶	実行委員会では、既に野幌地区市民まつりとの同時開催を実施しているほか、グッズ販売などによる自主財源の確保など、補助金額減少に努めている。しかし、ステージや音響設備など、一定の固定費がかかるため、補助金の削減は、来場者等へのサービス低下を招くことが危惧される。一方で協賛金の確保については、経済情勢にも左右されるため、大手スポンサーや企業ぐるみの参加があれば、コスト削減の可能性はあるが、現時点では難しい。	なし	
ある	理由 根拠	▶				実行委員会では、既に野幌地区市民まつりとの同時開催を実施しているほか、グッズ販売などによる自主財源の確保など、補助金額減少に努めている。しかし、ステージや音響設備など、一定の固定費がかかるため、補助金の削減は、来場者等へのサービス低下を招くことが危惧される。一方で協賛金の確保については、経済情勢にも左右されるため、大手スポンサーや企業ぐるみの参加があれば、コスト削減の可能性はあるが、現時点では難しい。	
なし							

事業名：江別市民まつり事業補助金

【事業番号 81】  
観光振興課 主査(観光振興)

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民まつり実行委員会

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市民まつり実行委員会の数	団体	3	2	2	2
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

江別市商工労働関係事業補助金交付規則等に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止を余儀なくされた実行委員会に対して、まつりの中止及び継続のために要する経費から、本補助金以外の収入及び前年からの繰越金を差し引いた額の全額(ただし予算の範囲内)を補助金として交付。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,250	166	70	1,400
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

市民相互の交流や地域コミュニティを醸成する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	来場者数	人	74,000	0	0	54,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	2,250	166	70	1,400
正職員人件費(B)		千円	769	763	761	777
総事業費(A+B)		千円	3,019	929	831	2,177

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	・市民まつり実行委員会への補助金交付	・市民まつり補助金(野幌地区)	70千円

<b>事業開始背景</b>
北国の短い夏のひとときを明るく、楽しく過ごすために多彩な行事を実施し、市民が楽しく参加できるまつりとするため、補助を開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
事業開始当初は、商店街がまつりの実行委員会の中心であったことから、商業振興を目的とした補助の側面が強かったが、現在は自治会等を含む市民参加型のイベントとして変容してきており、市民相互の交流や地域コミュニティの醸成といった意味合いが増している。 なお、約50年続いた江別地区の市民まつり及び同日開催の花火大会は商店街店舗の減少、実行委員の高齢化、後継者不足の事情により、事業継続が困難となったことから令和元年の開催をもって終了となった。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	



事業名：江別観光協会補助金

【事業番号 82】  
観光振興課 主査(観光振興)

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策							
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

一般社団法人えべつ観光協会(江別観光協会)

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標1	江別観光協会会員数	会員	235	243	239	241
対象指標2						

手段(事務事業の内容、手法)

江別観光協会が任意団体であった令和3年9月30日までは「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別観光協会補助金交付要領」、令和3年10月1日をもって法人化した後は、「一般社団法人えべつ観光協会補助金交付要綱」に基づき、観光協会事業に対して補助金を交付する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標1	補助金額	千円	2,585	2,510	9,176	17,608
活動指標2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

観光パンフレットの発行、ホームページ及びSNS等による情報発信、特産品PRのほか、観光推進体制の主体となるべく、持続可能な組織として体制の充実、強化を図るための事業に取り組むことができる

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標1	観光協会事業件数	件	9	9	10	10
成果指標2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	2,585	2,510	9,176	23,082
正職員人件費(B)		千円	1,537	6,103	15,214	23,304
総事業費(A+B)		千円	4,122	8,613	24,390	46,386

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	観光協会事業に対し補助金交付 ・観光・物産紹介冊子の発行 ・観光PR事業 (宣伝資材の制作、ホームページ・SNS等による情報発信等) ・特産品PR事業 (各種イベント参加による広報活動等) ・プレイングマネージャー養成講座事業 ・法人化パイロット事業	主な補助内訳 ・事務局運営費 5,352千円 ・観光・物産紹介冊子の発行 2,097千円 ・観光PR事業 328千円 ・特産品PR事業 317千円 ・プレイングマネージャー養成講座事業 550千円 ・法人化パイロット事業 297千円	

**事業開始背景**

江別観光協会は、昭和32年に賛同者20数名をもって設立され、以来市から補助金を支出している。

**事業を取り巻く環境変化**

不況による会員の負担感の増。  
 団体旅行から個人旅行へのシフト。  
 札幌を中心とする広域圏での誘客の取り組み。  
 平成29年度に江別市観光振興計画が策定され、民間の観光関連団体が、組織の充実・強化を進め、観光振興事業を実施する主体となることが求められたことから、江別観光協会は令和3年10月に法人化し、一般社団法人えべつ観光協会となった。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
観光パンフレット発行等の既存事業の他に、トラベルツアーやワーキングプロジェクトを推進できる人材（プレイングマネージャー）養成講座等の新規事業を実施しており、観光振興事業を実施する主体として、一定の成果が上がってきていると考えられる。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
組織体制の強化のため、江別観光協会は令和3年10月に一般社団法人化しており、長期的な視点から観光振興の中心的役割を担っていくことが期待できる。現在、市の地域プロジェクトマネージャーが中心に活動支援をしており、協会会員自らが企画・実行できる体制が構築されれば、成果は向上できる。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
事務局の運営費や観光パンフレットの作成費など、（一社）えべつ観光協会が事業を実施していくために最低限必要な経費を支出しているため、コストの削減余地は少ない。		

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民及び観光客

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,777	119,777
対象指標 2	観光入込客数	人	1,190,090	1,361,201	1,216,970	1,361,201

手段(事務事業の内容、手法)

歴史的れんが建造物である旧ヒダ工場内にアンテナショップを設置し、観光・物産等の魅力を発信・プロモーションする。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	営業日数	日	362	362	351	361
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

江別市をはじめ、友好都市土佐市の特産品等のほか、江別市の観光情報等、魅力的な情報が手に入る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	アンテナショップ来店者数	人	23,708	16,659	15,056	16,659
成果指標 2	アンテナショップ来店者数(市外)	人	6,511	4,017	3,911	4,017

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	7,599	7,966	8,163	8,635
正職員人件費(B)		千円	3,844	3,815	3,804	3,884
総事業費(A+B)		千円	11,443	11,781	11,967	12,519

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナショップ管理運営</li> <li>壁面黒板チョークアート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナショップ管理運営費 7,827千円</li> <li>壁面黒板チョークアート製作関連費 123千円</li> </ul>

<b>事業開始背景</b>
江別グレシヤムアンテナショップとして、旧ヒダ工場の一部利活用を図ってきたが、商業施設として施設全体が活用されることに伴い、江別の魅力発信や観光案内等の新たな機能を加え、江別アンテナショップGET'Sとしてリニューアルした。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
アンテナショップの来店者数増加に向け、友好都市の特産品販売イベント等を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、営業の制限や人流の抑制がされるといった背景から、来店者数を増加させるのが難しい状況となっている。そのため、今後は新しい生活様式に沿った営業を行いながら、来店者数を増加させる取組を行うことが求められる。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	理由根拠	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p style="background-color: black; color: white;">上がっていない</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、営業時間の短縮や休業といった対応をせざるを得ない状況であった。また、不要不急の外出自粛によって人流が抑制されたため、昨年度より更に来店者数が減少した。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	理由根拠	<p>成果向上余地 大</p> <p style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大による影響が緩和され、人流の抑制がなくなることにより、来店者数がコロナ前の水準まで回復する余地がある。また、友好都市の特産品販売イベントの開催や、江別市の観光情報を今後も継続して発信していくことで、来店者数が増加する余地がある。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	理由根拠	<p>ある</p> <p style="background-color: black; color: white;">なし</p> <p>現状、必要最低限のコストで運営しているため、経費削減は施設の管理運営に支障をきたす可能性がある。</p>

事業名：地域発見魅力発信事業

【事業番号 988】  
観光振興課 主査(観光振興)

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用					
開始年度	平成23年度	終了年度	令和 3年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

周辺市町村

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	0
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

市内の周遊を促進するツールの作成や地域プロモーションを実施し、周辺市町村の住民にPRする。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	プロモーション事業件数	件	6	6	6	0
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

地域資源を活用した観光情報の発信等により、江別の魅力を発信し、近隣市の住民や観光客の市内への入込数を増やす。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	主要観光施設観光入込客数(策定時5施設)	人	194,451	189,019	192,247	0
成果指標 2	主要観光施設観光入込客数	人	335,981	274,249	271,619	0

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	3,814	4,282	8,074	0
正職員人件費(B)		千円	6,150	6,866	6,846	0
総事業費(A+B)		千円	9,964	11,148	14,920	0

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊等事業</li> <li>・ノハナショウブ保存活用事業</li> <li>・ドライブコースご当地ナビ事業(JAF)</li> <li>・子どもパスポート事業</li> <li>・さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊等事業 6,468千円</li> <li>・ノハナショウブ保存活用事業 614千円</li> <li>・ドライブコースご当地ナビ事業(JAF) 35千円</li> <li>・子どもパスポート事業 330千円</li> <li>・さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会事業 600千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
江別市は宿泊施設が少なく、日帰りで訪れる観光客が大部分を占めている。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
国による観光ビジョンの策定など観光産業に関する重要度が高まったことをうけ、広域観光やインバウンド対応の検討、地域おこし協力隊制度の活用などを展開する一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、少人数で、近場で、短時間で、といった行動傾向が強まり、道央圏や近隣市町村からの誘客を推進する取組みが重要となっている。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>成果指標1については目標達成しているものの、成果指標2については未達成となっている。地域おこし協力隊による外からの視点で制作されたフリーペーパーの活用やSNSによる風景写真等の情報発信により、市内周遊の促進を図り、周辺市町村から江別市へ足を運んでもらうきっかけ作りを行った。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外出自粛等の制限があり、人流が抑えられたことが未達成の要因と考える。</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	<p>成果指標1については目標達成しているものの、成果指標2については未達成となっている。地域おこし協力隊による外からの視点で制作されたフリーペーパーの活用やSNSによる風景写真等の情報発信により、市内周遊の促進を図り、周辺市町村から江別市へ足を運んでもらうきっかけ作りを行った。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外出自粛等の制限があり、人流が抑えられたことが未達成の要因と考える。</p>	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	<p>成果指標1については目標達成しているものの、成果指標2については未達成となっている。地域おこし協力隊による外からの視点で制作されたフリーペーパーの活用やSNSによる風景写真等の情報発信により、市内周遊の促進を図り、周辺市町村から江別市へ足を運んでもらうきっかけ作りを行った。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外出自粛等の制限があり、人流が抑えられたことが未達成の要因と考える。</p>				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>新型コロナウイルス感染症による影響が小さくなれば、人流が増え、観光入込客数は現状よりも増加する余地がある。また、少人数で、近場で、短時間で、といったコロナ禍での行動傾向を捉え、新たに発足した一般社団法人えべつ観光協会と連携しながら、周辺市町村に対する江別の観光の魅力を積極的に発信していくことで、市内への入込客数を増加させる余地はあると考えている。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	<p>新型コロナウイルス感染症による影響が小さくなれば、人流が増え、観光入込客数は現状よりも増加する余地がある。また、少人数で、近場で、短時間で、といったコロナ禍での行動傾向を捉え、新たに発足した一般社団法人えべつ観光協会と連携しながら、周辺市町村に対する江別の観光の魅力を積極的に発信していくことで、市内への入込客数を増加させる余地はあると考えている。</p>	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	<p>新型コロナウイルス感染症による影響が小さくなれば、人流が増え、観光入込客数は現状よりも増加する余地がある。また、少人数で、近場で、短時間で、といったコロナ禍での行動傾向を捉え、新たに発足した一般社団法人えべつ観光協会と連携しながら、周辺市町村に対する江別の観光の魅力を積極的に発信していくことで、市内への入込客数を増加させる余地はあると考えている。</p>				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">ある</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>令和3年10月にえべつ観光協会が法人格を取得し、行政から独立した。今後は市と連携して観光事業に取り組んでいくが、事業実施のための補助など、当面行政のサポートが必要である。</p> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc; padding: 5px;">なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	<p>令和3年10月にえべつ観光協会が法人格を取得し、行政から独立した。今後は市と連携して観光事業に取り組んでいくが、事業実施のための補助など、当面行政のサポートが必要である。</p>	なし	
ある	理由 根拠	<p>令和3年10月にえべつ観光協会が法人格を取得し、行政から独立した。今後は市と連携して観光事業に取り組んでいくが、事業実施のための補助など、当面行政のサポートが必要である。</p>				
なし						

事業名：観光振興計画推進事業

【事業番号 6224】  
観光振興課 主査(観光振興)

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり						
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用						
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市外の人

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	江別市外の人(把握困難)	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

江別市観光振興計画に基づき、新たな観光商品の開発やPRによる観光誘客を図るほか、計画推進のための観光人材の育成、推進体制の検討等を実施する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	事業実施件数	件	9	8	7	6
活動指標 2	観光人材育成セミナー開催回数	回	3	2	1	1

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

観光振興計画に基づく新たな地域資源の活用や情報発信を実施し、道央圏からの誘客による交流人口の増加を図るほか、観光人材の育成や推進体制を検討し観光振興計画の推進を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	観光入込客数	人	1,190,090	1,361,201	1,216,970	1,361,201
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	10,256	7,185	8,298	11,685
正職員人件費(B)		千円	7,687	11,444	10,650	3,884
総事業費(A+B)		千円	17,943	18,629	18,948	15,569

事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
3年度 ・レンタサイクル事業 ・市外プロモーションの開催 ・観光人材育成セミナーの開催 ・リアル謎解きゲームの開催 ・観光イラストマップの更新 ・産業連携新商品開発支援補助金 ・観光PR動画制作	・レンタサイクル事業費 1,863千円 ・市外プロモーション事業費 495千円 ・観光人材育成セミナー委託料 297千円 ・リアル謎解きゲーム委託料 2,618千円 ・観光イラストマップ更新費 720千円 ・産業連携新商品開発支援補助金 1,937千円 ・観光PR動画制作費 298千円

**事業開始背景**

江別市の交流人口を増やし地域経済を活性化するために、実際に江別市に来てもらい、まちを知ってもらうことが重要であるため、市民・観光関連事業者・行政など江別市の観光に携わる全ての人が連携し、平成29年度に策定した江別市観光振興計画に基づき、効果的な観光振興の取組を行うものである。

**事業を取り巻く環境変化**

新型コロナウイルス感染症の拡大により、市をまたぐ移動や不要不急の外出を控えるよう国や道から要請があり、観光需要は感染拡大前より大きく減少している。一方で、感染拡大防止のための新しい生活様式を守りながら、密を回避し、少人数・近場・巣ごもり・オンライン・テイクアウトといったキーワードでの消費需要が高まっている。また、観光振興計画の具現化を図る民間の中心的組織としての役割を担うため、令和3年10月に江別観光協会が法人化し、一般社団法人えべつ観光協会となった。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
観光シーズンである5月中旬から9月末にかけて、新型コロナウイルス感染症が拡大し、不要不急の外出や市外との往来を控えるよう国や道から要請があったことから、観光入込客数は減少した。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
観光振興計画に基づいた事業は、市全体の観光振興・地域経済等の活性化につながるため、市民、民間、行政が役割を分担しつつ連携し、自主的・積極的に取り組んでいくことで、更なる観光振興の向上へつながる余地がある。また、江別観光協会が一般社団法人化したことで、民間の柔軟な発想を取り入れた観光振興計画の推進が期待できる。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
観光を取り巻く状況は大きく変化しており、観光振興計画に基づく事業の推進により成果指標である観光入込客数の維持又は増加を図るには、一定のコストが必要である。		



政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			具体的施策					
開始年度	令和元年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び観光客

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市民及び観光客（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市民交流施設内にある江別市民活動センターにおいて観光案内業務を委託し、当市の観光の魅力を発信・プロモーションする。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	営業日数	日	94	359	358	359
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市の観光情報等、魅力を発信し、市民や観光客の情報収集の場とする。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	観光案内利用者数	人	144	321	378	411
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	1,057	2,570	2,561	2,594
正職員人件費 (B)		千円	1,537	763	761	777
総事業費 (A+B)		千円	2,594	3,333	3,322	3,371

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	観光案内業務委託	観光案内業務委託料 2,561千円	

**事業開始背景**

平成30年度に、市民・市民団体や有識者等で構成された「市民交流施設活用検討会」にて、市民交流施設の活用について検討され、提案のひとつとして、江別市の魅力を発信するための観光案内について提案があった。また、市民交流施設の利活用案に対するパブリックコメントにおいても、観光情報の提供を望む意見が寄せられた。市としては、市民交流施設にて、市民から隣接地の宿泊施設などを利用する観光客に向けて、当市の観光情報を提供することは、行政サービスの向上及び情報発信の強化に繋がることから、令和元年12月に開館した市民交流施設に観光案内業務を委託したものである。

**事業を取り巻く環境変化**

JR野幌駅に近く、ホテル「リポーン野幌」にも隣接している市民交流施設で、観光客、ホテル宿泊者、市民等多様な利用者に向けて江別市の観光情報、イベント情報、特産品等の情報発信を行い、行政サービスの向上を図っている。また、市が実施するレンタサイクル事業の受付窓口としての役割を果たしている。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光シーズンである5月中旬から9月末にかけて、不要不急の外出や市外との往来を控えるよう国や道から要請があったこともあり、目標は達成できなかったものの、昨年度より利用者が増加していることから、当該事業の実施についての認知度が向上してきていると評価している。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着き、各種市内イベント等の実施が可能になれば、来江する周遊客が増加し、観光案内利用者数も現状より向上する可能性がある。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	必要最低限の委託費を計上しており、削減することは施設の管理運営に支障をきたすため困難である。
	なし			

政策	02 産業	戦略							
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策							
開始年度	令和 3年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別・土佐友好大綱まつり実行委員会

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	0	0	0	4
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別・土佐友好大綱まつり事業補助金交付要領」(制定予定)により、江別・土佐友好大綱まつり実行委員会へ補助金を交付する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	0	0	0	400
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

江別・土佐友好大綱まつりを開催し、市内外から多くの来場者を迎えることで友好都市である土佐市との交流・相互理解を一層深めるとともに、観光誘客による市内経済の活性化に寄与する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	来場者数	人	0	0	0	2,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	0	0	0	400
正職員人件費(B)		千円	0	0	0	1,554
総事業費(A+B)		千円	0	0	0	1,954

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	江別・土佐友好大綱まつり実行委員会への補助金交付	事業中止	

<b>事業開始背景</b>
江別地区市民まつりで実施されてきた「土佐大綱まつり」の新たな実施主体として立ち上げられた「江別・土佐友好大綱まつり実行委員会」に対し、両市のさらなる相互発展、友好親善を図るとともに地域経済の振興に寄与することを目的として実施する「江別・土佐友好大綱まつり」の経費を補助する。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

<b>令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）</b>				
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？				
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>初年度、事業中止のため分析不可</p> </td> </tr> </table>	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由 根拠	<p>初年度、事業中止のため分析不可</p>
<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由 根拠	<p>初年度、事業中止のため分析不可</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>初年度、事業中止のため分析不可</p> </td> </tr> </table>	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由 根拠	<p>初年度、事業中止のため分析不可</p>
<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由 根拠	<p>初年度、事業中止のため分析不可</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？				
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <p>ある</p> <p>なし</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <p>初年度、事業中止のため分析不可</p> </td> </tr> </table>	<p>ある</p> <p>なし</p>	理由 根拠	<p>初年度、事業中止のため分析不可</p>
<p>ある</p> <p>なし</p>	理由 根拠	<p>初年度、事業中止のため分析不可</p>		

事業名：消費者保護育成事業

【事業番号 6202】

商工労働課 主査(地域雇用・産業連携)

政策	04 安全・安心	戦略	
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保	具体的施策	
開始年度	平成28年度	終了年度	—
		区分1	継続
		区分2	補助
			補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

市民

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1 市民	人	119,510	119,883	119,777	119,777
対象指標 2					

手段(事務事業の内容、手法)

- ・江別消費者協会への消費生活相談業務委託
- ・江別消費者協会への消費生活コーディネーター業務委託
- ・江別消費者協会の運営費及び事業費の一部を補助する。
- ・消費啓発イベント実行委員会が主催する啓発活動の事業費を補助する。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1 年間相談開催日数	日	240	243	242	243
活動指標 2 消費啓発講座等開催回数	回	17	3	6	15

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

被害の未然防止や被害後の救済の支援を行うことで、市民が安心・安定した消費生活を送ることができる。

指標名	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1 消費生活相談受付件数	件	689	721	644	682
成果指標 2 消費啓発講座等参加者数	人	739	58	328	582

事業費の推移	単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)	千円	7,463	6,481	6,719	6,944
正職員人件費(B)	千円	3,844	1,526	3,043	3,884
総事業費(A+B)	千円	11,307	8,007	9,762	10,828

	事業内容(主なもの)	費用内訳(主なもの)
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江別消費者協会への消費生活相談業務委託費</li> <li>・江別消費者協会への消費生活コーディネーター業務委託費</li> <li>・江別消費者協会の運営及び事業費の一部を補助する。</li> <li>・消費啓発イベント実行委員会が主催する啓発活動の事業費を補助する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活相談業務委託費 3,954千円</li> <li>・消費生活コーディネーター委託費 308千円</li> <li>・江別消費者協会補助金 2,357千円</li> <li>・消費活動啓発事業補助金 100千円</li> </ul>

**事業開始背景**

消費者保護法制の改正に伴う消費者の保護及び自立支援

**事業を取り巻く環境変化**

消費生活環境の多様化・複雑化  
 高度な情報化社会へと発展した昨今、消費者を取り巻く環境も複雑なものへと変化しており、消費者の利益を適正に保護するため、消費生活相談業務や啓発活動等の重要性は高い。

**令和 3 年度の実績による担当課の評価（令和 4 年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	相談内容は複雑化しており、解決に困難を要する案件が増加している。そのため、消費者のセーフティネットとしての重要性が高い。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	通信技術の発達による架空請求や通販トラブル等の増加や成人年齢の引き下げによる若年層の消費者被害の増加に伴い、相談件数の増加が見込まれる。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	消費生活に関する広範な問題を取り扱う唯一の機関であり、コストの削減は難しい。
	なし		